SONY

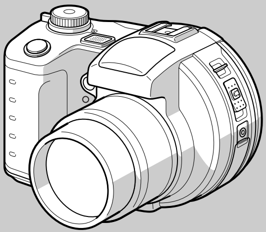
3-081-838-**03** (1)

取扱説明書

CDマビカ応用編／困ったときは

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「CDマビカ基本編」、「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

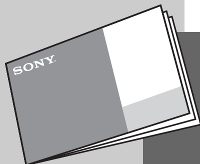


CD Mavica

InfoLITHIUM™ M SERIES

COMPACT disc Recordable ReWritable

MVC-CD500



別冊の
「*CDマビカ基本編*」
もご覧ください。

目次

静止画を編集する

動画を撮る

パソコンで楽しむ

困ったときは

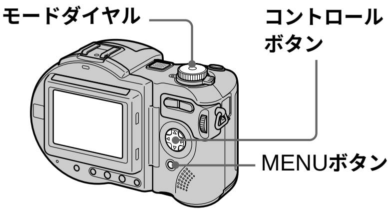
その他

用語の解説／索引

別冊の「CDマビカ基本編」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊基本編 ➡ ページ番号**」のようにご案内しています。

本機の設定／操作のしかた

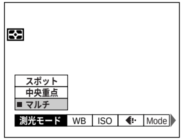
ここでは、本書でよく使われるメニューやSET UP画面の使いかたをまとめて説明します。



メニューの設定を変える

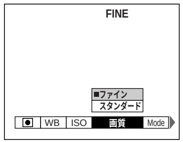
1 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。



2 コントロールボタンの◀/▶を押し、設定したい項目を選ぶ

選ばれた項目の文字・記号が黄色に変わります。



3 コントロールボタンの▲/▼を押し、設定を選ぶ

選ばれた設定の枠が黄色に変わり、そのまま決定されます。

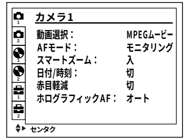
メニュー表示をやめるには

MENUボタンを押してください。

SET UP画面で設定を変える

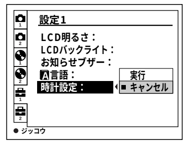
1 モードダイヤルを「SET UP」にする

SET UP画面が表示されます。



2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目を選ぶ

選ばれた設定の枠が黄色に変わります。



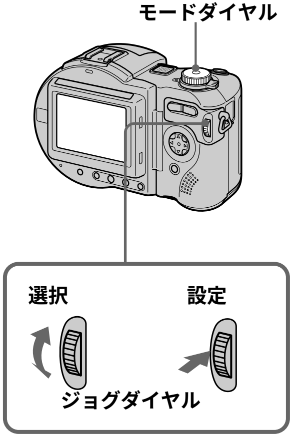
3 コントロールボタンの中央の●を押し、設定（実行）する

SET UP画面表示をやめるには

モードダイヤルを「SET UP」以外にしてください。

ジョグダイヤルの使いかた

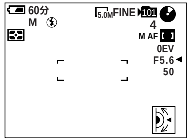
手動調節モード（シャッタースピード優先モード、絞り優先モード、マニュアル露出モード）や露出補正、手動フォーカスを使って撮影したり、AF測距枠を変更するときは、ジョグダイヤルで設定値を変更します。



項目を選ぶとき

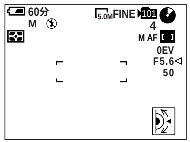
1 ジョグダイヤルを回し、設定したい項目を選ぶ

黄色い◀マークが移動し、設定したい項目が選べます。



2 ジョグダイヤルを押す

数値が黄色で表示されます。



3 他の項目を設定するときは、ジョグダイヤルを押してから、設定したい項目を選ぶ

- 選択できない項目は灰色で表示されています。

数値を選ぶとき

数値が黄色に表示されると、数値選択ができます。

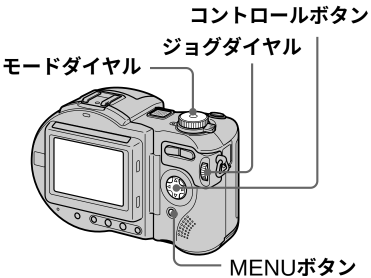
ジョグダイヤルをまわし、数値を選ぶ

数値は表示された状態で決定されます。

静止画の画質を決める

モードダイヤル：P/S/A/M/SCN

静止画の画質を選ぶことができます。画質（圧縮率）は［ファイン］（高画質）と［スタンダード］（標準）の2種類から選ぶことができます。

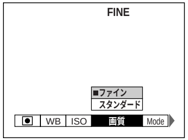


1 **モードダイヤルを「**P**」、「**S**」、「**A**」、「**M**」、「**SCN**」のいずれかにする**

2 MENU**ボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 **◀/▶で［ ］（画質）、▲/▼で希望の画質を選ぶ**



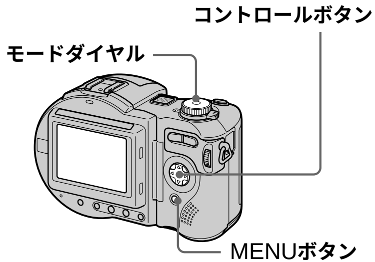
- ここで選んだ画質の設定は、電源を切った後も保持されます。
- モードダイヤルを「 」（マルチ連写）の位置にしても操作できます。

フォルダを作成／選択する

モードダイヤル：SET UP

本機はディスクの中に複数のフォルダを作成することができます。また、入れたいフォルダを選択して記録できます。

新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成することができます。



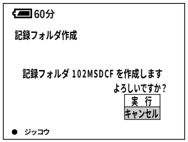
- 1つのフォルダに記録できるのは最大4000枚です。フォルダ容量を越えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

新しいフォルダを作る

1 モードダイヤルを「SET UP」にする

2 ▲/▼で［］（ディスクツール2）、▶/▲/▼で［記録フォルダ作成］、▶/▲で［実行］を選び、中央の●を押す

下記の画面が表示されます。



3 ▲で［実行］を選び、中央の●を押す

既存最大番号＋1のフォルダが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録されます。

フォルダ作成を中止するには

手順2または3で［キャンセル］を選んでください。

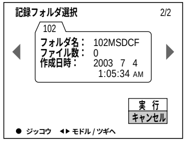
- 一度作成したフォルダを本機では削除することはできません。
- 撮影する画像は、違うフォルダを選択するか、さらに新しくフォルダを作成するまで、そのフォルダに記録されます。

記録フォルダを選択する

1 モードダイヤルを「SET UP」にする

2 ▲/▼で［］（ディスクツール2）、▶/▲/▼で［記録フォルダ変更］、▶/▲で［実行］を選び、中央の●を押す

記録フォルダ選択画面が表示されます。



3 ◀/▶で、希望のフォルダを選び、▲で［実行］を選び、中央の●を押す

記録フォルダの変更を中止するには

手順2または3で［キャンセル］を選んでください。

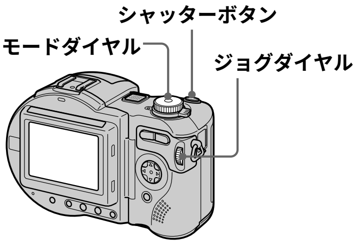
- 「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選ぶことはできません。
- 画像は選択した記録フォルダに記録されます。本機では記録した画像を別のフォルダに移動することはできません。

プログラムシフトで撮る

ー プログラムシフト

モードダイヤル：P

明るさを固定したまま、F値（絞り値）とシャッタースピードの組み合わせを素早く変更することができます。





1 モードダイヤルを「P」にする

2 F値とシャッタースピードの組み合わせをシフトする

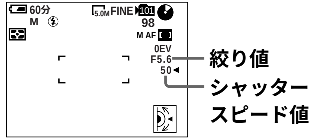
ジョグダイヤルで選びます（5ページ）。「**P***」が表示されます。

- シャッターボタンを半押ししているときは、F値とシャッタースピードの組み合わせをシフトできません。
- 明るさが変わるとF値とシャッタースピードは変化します。

手動調節して撮る

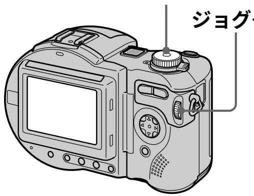
モードダイヤル：S/A/M

撮影目的に合わせてシャッタースピード／絞りを手動調節できます。



モードダイヤル	説明
S	シャッタースピードを優先するモードです。被写体の明るさに応じた適正露出になるように、その他の設定は自動調節されます。
A	絞りを優先するモードです。被写体の明るさに応じた適正露出になるように、その他の設定は自動調節されます。
M	シャッタースピードと絞りを撮影条件に合わせて手動で設定するためのモードです。

- 動画撮影時は手動調節できません。
- 設定後、適正露出が得られない場合、シャッターボタンを半押しすると、液晶画面の設定値表示が点滅することがあります。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。
- フラッシュは自動発光しません。
- モードダイヤルを「S」、「A」にしたときは露出補正値を調節することができます（15ページ）。

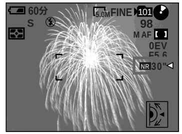


シャッタースピード優先モード

被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調する撮影などに便利です。



1/1000秒時（最短）



8秒時（最長）

1 モードダイヤルを「S」にする

2 シャッタースピード値を選ぶ

ジョグダイヤルで選びます（5ページ）。1/1000秒から8秒の範囲で、シャッタースピードを選べます。1/6秒またはそれよりも遅い設定のシャッタースピードを選択すると、自動的にNRスローシャッター機能が働きます。

- 1秒以上は「1"」のように「"」が表示されます。

絞り優先モード

被写体と背景の両方、または被写体のみにピントを合わせたいなど、ピントの合う範囲を変える時に便利です。



絞り値F2（最小）



絞り値F8（最大）

1 モードダイヤルを「A」にする

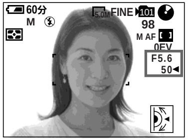
2 絞り値を選ぶ

ジョグダイヤルで選びます（5ページ）。F2からF8の範囲で選べます。

- ズーム位置によって選べる範囲は変わります。
- シャッタースピードは1/1000秒から8秒の範囲で自動調節されます。

マニュアル露出モード

シャッタースピードと絞り値を、撮影目的に合わせて手動で調節できます。



設定した値と本機が判断した適正露出の差が画面上にEV値（86ページ）で表示されます。0EVが本機が最適と判断した値です。

1 モードダイヤルを「M」にする

2 シャッタースピード値を選ぶ

ジョグダイヤルで選びます（5ページ）。

3 絞り値を選ぶ

ジョグダイヤルで選びます（5ページ）。

NRスローシャッター

撮影した画像からノイズを除去し、きれいな画像を得る機能です。シャッタースピードが1/6秒または、それより遅いシャッタースピードのとき、自動的にNRスローシャッター機能が働き、シャッタースピード表示の前に「NR」が表示されます。



シャッターボタンを深く押し込む

↓



このとき画面は黒くなります。

↓



「処理中」の表示が消えると、画像が記録されます。

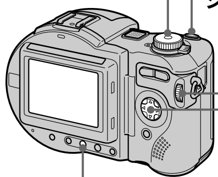
- 手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- シャッタースピードが遅く設定されているときは、処理に時間がかかる場合があります。

オートフォーカスの方法を選ぶ

AF測距枠とAFモードを設定できます。

AF測距枠
被写体の位置やその大きさによってピント合わせの位置を選択します。

AFモード
AFのレスポンスとバッテリーの消耗の度合いに合わせたピント合わせの動作を設定します。



ピント合わせの測距枠を選ぶ
ー AF測距

モードダイヤル：P/S/A/M/SCN/

マルチポイントAF
中央を中心に左右の3か所で距離を測定するので、構図に依存しないオートフォーカス撮影ができます。被写体がフレームの中心になくピントの合わせづらい場合に有効です。AFロック後、ピント合わせを行った位置を緑の枠で確認することができます。
お買い上げ時はマルチポイントAFに設定されています。

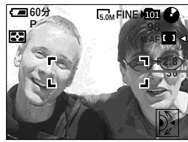
選択枠重点AF
中央、左、右、下、上の5種類のAF測距枠から選択できます。選んだ枠付近の被写体を狙ってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。

スポットAF
非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。測距枠から外れないように手ぶれにご注意ください。

1 モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「」のいずれかにする

2 FOCUSボタンを押して、AF測距枠選択に切り換える
FOCUSボタンを押すたびに次のように切り換わります。
AF測距枠選択
↕
フォーカスプリセット

3 AF測距枠を選ぶ
ジョグダイヤルで選びます（5ページ）。マルチポイントAF、中央、左、右、下、上、スポットAFの中から選べます。



自動ピント合わせをします。
シャッターボタンを半押ししてピントが合うとAF測距枠の色が白から緑色に変わります。

ピント合わせの動作を選ぶ
− AFモード

- 動画（MPEGムービー）撮影時、マルチポイントAFを選ぶと画面中央部分を平均的に測距し、手ぶれに強いAFが可能です。選択枠重点AFとスポットAFの場合は、選択された枠部分のみで測距するため、狙った部分のピント合わせに便利です。
- スマートズームやホログラフィックAFを使用するときは、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。この場合、AF測距枠表示が点滅し、AF測距枠は表示されません。

モードダイヤル：SET UP

本機では、ピント合わせの方法を下記の3つのモードから選ぶことができます。

シングルAF
近景から遠景まで、幅広く精度がよいピント合わせを行います。動きのない被写体を撮影するときに便利です。
シャッターボタンを半押しする前はピント合わせを行いません。シャッターを半押しし、ロック完了すると、フォーカスが固定されます。

モニタリングAF
ピント合わせの時間を短くすることができます。シャッターボタンを半押しする前からピント合わせを行うので、ピントが合っている画像で構図を決めることができます。シャッターを半押しし、ロック完了すると、フォーカスが固定されます。
お買い上げ時はモニタリングAFに設定されています。

- シングルAFに比べてバッテリーの消耗が早くなることがあります。

コンティニュアスAF
シャッターボタンを半押しする前からピント合わせを行い、ロック完了後もピント合わせを行います。被写体が動いた場合でもそのまま撮影が可能です。

- 下記の場合は、ロック完了後、ピント合わせを行いません。「C AF」が点滅し、モニタリングAFと同じ動作になります。
  －暗い状況下での撮影
  －スローシャッターでの撮影
- AF測距枠は中央重点になります。
- 動きの早い被写体を撮影する場合、追従できない場合があります。
- ピントが合ったときのロック音は鳴りません。
- セルフタイマー撮影のときは、シャッターボタンを深く押し込むとピントが固定されます。
- 他のAFモードに比べてバッテリーの消耗が早くなることがあります。

1 モードダイヤルを「SET UP」にする

2 ▲で［ ］（カメラ1）、▶/▲/▼で［AFモード］を選ぶ

3 ▶/▲/▼で 希望のモードを選び、中央の●を押す

- 近接（マクロ）撮影のときは近い被写体に精度よくピント合わせをするためAFが遅くなります。素早い撮影をしたいときは、近接（マクロ）撮影を使用しないことをおすすめします。

撮影のテクニック

被写体をフレームの端にする構図などで撮影する場合、端の被写体にピントが合わず、中央にピントが合う場合があります。このようなときは、AFロックを使用し、ピントをねらった被写体に合わせて撮影します。（コンティニュアスAF時を除く）

被写体がAF測距枠内に入るように構図を変え、シャッターボタンを半押しする。
AE/AFロック表示が点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻して、シャッターボタンをさらに押し込む。



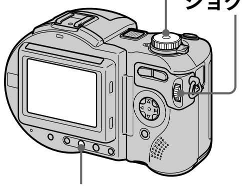
- AFロックを使うと、画面端に被写体があるときにも、ピントが合った画像を撮ることができます。
- AFロックの操作はシャッターボタンを押し込む前であれば、何回でもやり直せます。

被写体までの距離を設定する

– フォーカスプリセット

モードダイヤル：P/S/A/M/SCN/🎞

被写体との距離に応じて撮影距離をあらかじめ設定して撮影するときや、網や窓ガラス越しの被写体の撮影など、オートフォーカスが効きにくいときにフォーカスプリセットを使うと便利です。



1 モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞」のいずれかにする

2 FOCUSボタンを押して、フォーカスプリセットに切り換える

FOCUSボタンを押すたびに次のように切り換わります。

フォーカスプリセット
↕
AF測距枠選択

フォーカスが固定され、手動フォーカス合わせ表示Ⓕが表示されます。

3 ジョグダイヤルでプリセットされているフォーカス設定を選ぶ

被写体までの距離は次の中から選べます。

（単位：m）0.1、0.2、0.3、0.5、0.8、1.0、1.5、2.0、3.0、5.0、7.0、10、15、∞（無限遠）

オートフォーカスに戻すには

FOCUSボタンをもう一度押して、フォーカス距離表示を消してください。

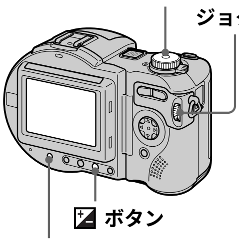
- フォーカス距離の設定は多少の誤差を含んでいます。目安としてお使いください。
- レンズを上や下に向けると誤差は大きくなります。
- ズームボタンのTを押してズームを望遠にしていると、0.1mの選択時、フォーカスが正しく合いません。その場合、フォーカス距離情報が点滅します。点滅しなくなるまで、ズームボタンのWを押してください。
- 別売りコンバージョンレンズ装着時はフォーカスプリセットは正しく働きません。

露出を補正する

ー EV補正

モードダイヤル：P/S/A/SCN/🎞

自動的に決定された露出を撮影者の意図する露出に変えるときに使います。補正する数値は+2.0EVから–2.0EVの範囲で、1/3EVきざみで設定することができます。



1 モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「SCN」、「🎞」のいずれかにする

2 (EV補正) ボタンを押す

3 ジョグダイヤルで補正値を選ぶ

被写体の背景の明るさを液晶画面で確認しながら調節してください。



自動露出に戻すには

露出補正値を0EVに戻してください。

- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュを使って撮影したときは、設定した補正が効かないことがあります。

撮影のテクニック

通常の撮影時、本機は自動で露出を補正しています。撮影画像を確認し、下の画像のようになっていたら、手動調節することをおすすめします。逆光の人物や雪景色で撮影するときは＋の方向に、画面いっぱいに黒い被写体を撮影するときなどは－方向に補正すると効果的です。



露出不足 → ＋方向に補正



適正な露出



露出過剰 → －方向に補正

ヒストグラムを表示する

ヒストグラムとは、画像の明るさをグラフ化したものです。横軸が明るさ、縦軸が画素数を表しています。グラフの表示が右側に寄っているときは明るめの画像、左側に寄っているときは暗めの画像となります。液晶画面の明るさに左右されず、撮影／再生時に露出を確認する参考になります。



1 モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする

2 DISPLAY/LCD BACK LIGHT ON/OFFボタンを押してヒストグラムを表示する

3 ヒストグラムを参考に、露出を調節する

露出を＋方向に補正するとヒストグラムは右側にずれる



露出を－方向に補正するとヒストグラムは左側にずれる



- モードダイヤルを「📷」の位置にしてもヒストグラムは表示されますが、露出の調節はできません。
- 静止画のシングル画面での再生時（**別冊基本編** ➡ 31ページ）、クイックレビュー時（**別冊基本編** ➡ 23ページ）にも、DISPLAY/LCD BACK LIGHT ON/OFFボタンでヒストグラムを表示することができます。
- 下記の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - －メニューを表示しているとき
  - －ブラケットモードで撮影した画像のクイックレビュー時
  - －再生ズーム時
  - －「🎞」で撮影した画像の再生時
- 下記の場合、⊗が表示されます。
  - －スマートズーム領域での撮影時
  - －画像サイズが4.5M（3:2）の時
  - －静止画の回転時
- 撮影前のヒストグラムはそのときに画面に表示されている画像のヒストグラムをあらわしています。シャッターボタンを押す前と押した後では、ヒストグラムに差が生じます。その場合は、シングル画面での再生、またはクイックレビューで確認してください。

  特に下記の場合は大きく差が出ることがあります。
  - －フラッシュ発光時
  - －［P.エフェクト］が［ソラリ］に設定されている時
  - －シャッタースピードが遅いとき、または速いとき
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されないことがあります。

測光モードを選ぶ

モードダイヤル：P/S/A/M/SCN/🎞

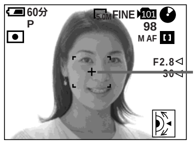
様々な撮影状況や撮影目的に合わせた測光モードを選ぶことができます。

マルチパターン測光（▣）
画面を多分割し、それぞれを測光します。被写体の位置や背景の明るさをカメラが判断してバランスのよい露出を決めます。
お買い上げ時はマルチパターン測光に設定されています。

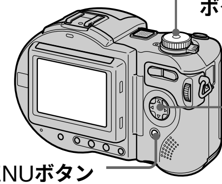
中央重点測光（⊡）
画面の中央部に重点をおいて測光します。撮影意図に合わせて、中央部付近の被写体の明るさを基準に露出を決めます。

スポット測光（⊡）
被写体の特定の部分を測光します。逆光のときや被写体と背景とのコントラストが強いときでも、撮りたい被写体に露出を合わせることができます。
撮りたいポイントにスポット測光照準を合わせて撮ります。

- 中央重点測光とスポット測光の場合、測光する場所とフォーカスを合わせる場所を一致させたいときは、AF測距枠の中央重点を使うことをおすすめします（11ページ）。



スポット
測光照準



1 **モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞」のいずれかにする**

2 **MENU ボタンを押す**
メニューが表示されます。

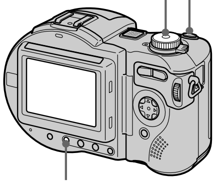
3 **◀/▶ で［⊡］（測光モード）、▲/▼で［マルチ］、［中央重点］、［スポット］のいずれかを選ぶ**

露出を固定して撮る

ー AE LOCK

モードダイヤル：P/S/A/SCN/🎞

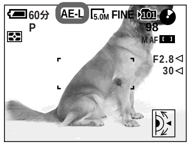
AE LOCKボタンを押すと、その構図での露出を固定します。



1 モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「SCN」、「🎞」のいずれかにする

2 欲しい露出の得られる方へ本機を向け、AE LOCKボタンを押す

露出が固定され、AE-Lマークが出ます。



3 被写体へ向き直り、シャッターボタンを半押しする

フォーカスを調節します。

4 シャッターボタンを深く押し込む

AE LOCKを解除するには

以下のいずれかの操作を行います。

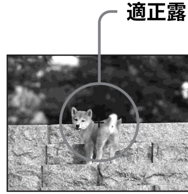
- 手順2の後でもう一度AE LOCKボタンを押す。
- 手順3の後でシャッターボタンから指を離す。
- 手順4でそのまま画像を撮る。

撮影のテクニック

特定の部分に露出を固定して撮影することができます。

中央重点測光やスポット測光で適正露出にしたい部分を測光する。

AE LOCKボタンを押し、露出を固定してから構図を変えて撮影する。





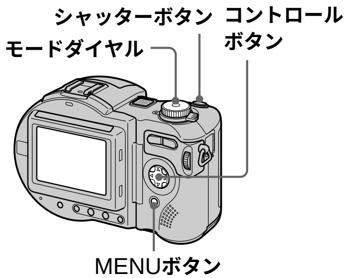
最適な露出を探す

ー ブラケット

モードダイヤル： 📷/P/S/A/M/SCN

自動的に露出を変えて3枚の画像を連続して撮影します。露出補正量の設定は、適正露出を中心に1/3EVごとに＋1.0EVから－1.0EVの範囲で選択できます。





1 モードダイヤルを「SET UP」にする

SET UP画面が表示されます。

2 ▲/▼で［📷2］（カメラ2）、▶/▲で［ブラケット設定］の順に選び、▶を押す

3 希望の露出振り幅を▲/▼で選び、中央の●を押す

±1.0EV：露出値を上下に1.0EVずらして撮影します。

±0.7EV：露出値を上下に0.7EVずらして撮影します。

±0.3EV：露出値を上下に0.3EVずらして撮影します。

4 モードダイヤルを「📷」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする

5 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

6 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［ブラケット］を選ぶ

7 撮影する

通常撮影に戻すには

手順6で［通常撮影］を選んでください。

- フラッシュは使えません。
- 撮影中は画面に画像が出ません。シャッターボタンを押す前に構図を決めておいてください。
- フォーカスとホワイトバランスは、最初の1枚目に設定された値に固定されます。
- EV補正をしているときは（15ページ）、EV補正値を中心に露出を変えて撮影します。
- 撮影の間隔は約0.5秒です。

- ブラケット撮影をするときは、1/6秒またはそれよりも遅いシャッタースピードは選べません。
- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときは、設定した振り幅で撮影できない場合があります。

色合いを調節する

– ホワイトバランス

モードダイヤル：P/S/A/M/SCN/🎞

ホワイトバランスがオートに設定されているときは、撮影状況に応じてホワイトバランスが自動的に設定され、全体の色のバランスが調節されます。撮影条件を固定したいときや特定の照明状態で撮影するときは、マニュアルで設定することができます。

オート（表示なし）
ホワイトバランスを自動調節する

☀（太陽光）
戸外で撮るときや夜景やネオン、花火や日の出、日没前後などを撮影するとき

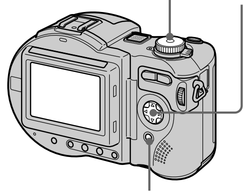
☁（曇天）
くもり空の時に撮影するとき

（蛍光灯）
蛍光灯の下で撮影するとき

（電球）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下

⚡WB（フラッシュ）
ホワイトバランスをフラッシュ光のみに合わせたいとき

（ワンプッシュ）
光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にするとき



1 モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞」のいずれかにする

2 MENUボタンを押す
メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［WB］（ホワイトバランス）、▲/▼で希望の設定を選ぶ

自動調節に戻すには

手順3で［オート］を選んでください。

- ちらつきのある蛍光灯のもとでは、 （蛍光灯）を選択してもホワイトバランスが合わないことがあります。
- フラッシュ発光時にはホワイトバランスのマニュアルの設定が解除されオートモードで撮影されます。（WB（フラッシュ）または（ワンプッシュ）のときを除く。）

（ワンプッシュホワイトバランス）モードで撮る

① ［（ワンプッシュ）］を選ぶ。
が表示されます。

② 被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ ▲を押す。
表示が速い点滅に変わります。ホワイトバランスが調節されてカメラに記憶されると、点灯に変わります。

- 表示について
遅い点滅：ホワイトバランスが未設定または設定できなかった場合
速い点滅：▲ボタンを押したあと、ホワイトバランス調節中
点灯：ホワイトバランス設定終了

表示が速い点滅をしている間は、本機を動かさないでください。

- ▲ボタンを押しても表示が点滅から点灯に変わらない場合は［オート］で撮影してください。
- ワンプッシュホワイトバランスの設定を行うと、画面が一瞬青一色になります。
- フラッシュモードが（強制発光）またはSL（スローシンクロ）の場合、フラッシュが発光した状態でホワイトバランスが調節されます。

撮影のテクニック

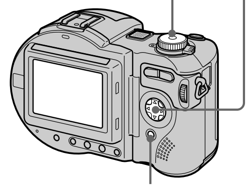
被写体の見ための色は、光の状況に影響されます。夏の太陽のような光の下ではすべてのものが青っぽく見え、電球のような光源の下では白いものが赤っぽく見えます。人間の目にはすぐれた調節機能があり、光が変わってもすぐに正しい色を認識できます。しかし、デジタルスチルカメラは光の影響を大きく受けます。通常、本機は調節を自動で行なっていますが、撮影画像を再生してみて画面全体が不自然な色合いのときはホワイトバランスの設定をすることをおすすめします。

フラッシュレベルを選ぶ

－ フラッシュレベル

モードダイヤル：P/S/A/M/SCN

フラッシュを使って撮影するとき、フラッシュの発光量を調節することができます。



1 モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［⚡±］（フラッシュレベル）、▲/▼で希望の設定を選ぶ

明：フラッシュの発光量を通常より多くする。

標準：通常の設定

暗：フラッシュの発光量を通常より少なくする。

- モードダイヤルを「🎞」（クリップモーション）の位置にしても操作できます。

コマ送りの画像を撮る

– クリップモーション

モードダイヤル：🎞

静止画（GIFアニメ）を連続して撮影できます。ファイル容量が小さいので、ホームページに載せたり、Eメールに添付したりするときに便利です。

- クリップモーションの撮影に使用する色の数は256色以下に制限されています。これはGIF形式の記録の特性によるものです。このため、画像によっては画質が劣化することがあります。

ノーマル（160×120）

最大10コマのクリップモーションを撮影できます。ホームページなどでの利用に適しています。

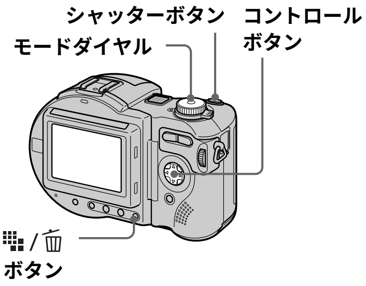
モバイル（120×108）

最大2コマのクリップモーションを撮影できます。携帯電話などでの利用に適しています。

- モバイルモードは、ファイルサイズを小さく抑えているため画質が劣化します。

操作の前に

「SET UP」の［動画選択］を［クリップモーション］にしておきます（4、75ページ）。



1 モードダイヤルを「🎞」にする

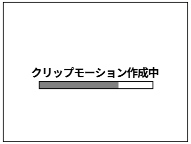
2 /🗑（画像サイズ）ボタンを押す

画像サイズが表示されます。

3 ▲/▼で希望の画像サイズを選ぶ

ノーマル、モバイルから選べます。

4 1コマ目を撮影する



5 次のコマを撮影する

撮りたいコマ数だけシャッターボタンを押し、繰り返し撮影します。

6 中央の●を押す

全コマがディスクに記録されます。

撮影した画像を途中で削除する

1 手順4または5で、◀（）を押す。
撮影した画像が順番に再生され、最後の画像で止まります。

2 /🗑（削除）ボタンを押し、◀/▶で［最後のみ削除］または［全て削除］を選び、中央の●を押す。

3 ［削除］を選び、中央の●を押す。
手順**2**で［最後のみ削除］を選んだ場合は、手順**1**から**3**を繰り返すと、新しい画像から順に削除されていきます。

- 手順6を行わないと、すべての画像はディスクに記録されません。
- クリップモーションの撮影枚数は69ページをご覧ください。
- クリップモーションでは、日付・時刻は挿入されません。
- クリップモーションをインデックス画面で見ると、実際の画像と違って見える場合があります。
- 本機以外で作成したGIFファイルは、本機では正しく表示されない場合があります。

マルチ連写で画像を撮る

－ マルチ連写

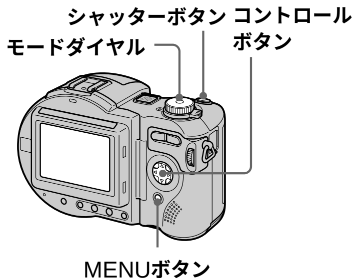
モードダイヤル：

一度のシャッターで16コマの画像を連写します。スポーツのフォームチェックなどに適しています。



操作の前に

「SET UP」の［動画選択］を［マルチ連写］にしておきます（4、75ページ）。



1 モードダイヤルを「」にする

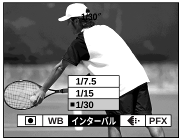
静止画を撮る（応用）

2 **MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 **◀/▶で［］（インターバル）、▲/▼で希望のコマ間のインターバルを選ぶ**

コマ間のインターバルはメニュー画面の設定項目から選べます（73ページ）。



4 **撮影する**

16コマの画像を1枚の画像（画像サイズ1.2M）として記録します。

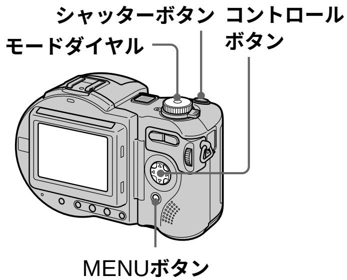
- マルチ連写で撮った画像を本機で再生するときは、36ページをご覧ください。
- マルチ連写の撮影枚数は69ページをご覧ください。
- フラッシュは使えません。
- マルチ連写では日付・時刻は挿入されません。

3枚連写する

– 3枚連写

モードダイヤル：/P/S/A/M/SCN

連続撮影するときに使います。シャッターボタンを押すと、3枚連続して撮影されます。

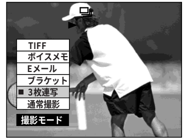


1 **モードダイヤルを「」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする**

2 **MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 **◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［3枚連写］を選ぶ**



4 **撮影する**

「記録中」という表示が消えると、次の撮影ができます。

通常撮影に戻すには

手順**3**で［通常撮影］を選んでください。

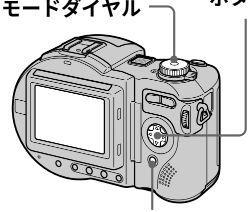
- フラッシュは使えません。
- 連写中は画面に画像が出ません。シャッターボタンを押す前に構図を決めておいてください。
- 撮影の間隔は約0.5秒です。
- 3枚連写をするときは、1/6秒またはそれよりも遅いシャッタースピードは選べません。

画像を圧縮せずに撮る

－ TIFF**モード**

モードダイヤル：📷/P/S/A/M/SCN

画像データを圧縮せずに撮影するため、画質の劣化がほとんどありません。撮影した画像をパソコンなどで編集するときに適しています。



1 モードダイヤルを「📷」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲で［TIFF］を選ぶ

4 撮影する

「記録中」という表示が消えると、次の撮影ができます。

通常撮影に戻すには

手順**3**で［通常撮影］を選んでください。

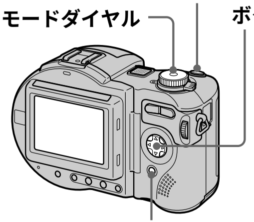
- JPEG画像は、**別冊基本編** ━▶ 19ページで選ばれている画像サイズで記録されます。非圧縮（TIFF）画像は［4.5M（3:2）］を選んでいるとき以外は［5.0M］で記録されます。
- データの書き込みに通常撮影よりも時間がかかります。
- TIFFモードの撮影枚数は68ページをご覧ください。

Eメール添付用の画像を撮る

－ E**メール**

モードダイヤル：📷/P/S/A/M/SCN

Eメール添付に適した、小さいサイズ（320×240）の画像を撮影します。**別冊基本編** ━▶ 19ページで選択したサイズの静止画も同時に記録されます。



1 モードダイヤルを「📷」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［Eメール］を選ぶ

4 撮影する

「記録中」という表示が消えると、次の撮影ができます。

通常撮影に戻すには

手順**3**で［通常撮影］を選んでください。

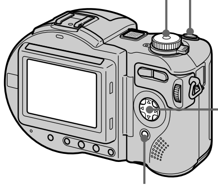
- 撮影した画像をEメールソフトウェアに添付する方法については、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Eメールモードの撮影枚数は68ページをご覧ください。

画像に音声を記録する

ー ボイスメモ

モードダイヤル：📷/P/S/A/M/SCN

静止画の撮影時に、音声もいっしょに記録します。



1 モードダイヤルを「📷」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［ボイスメモ］を選ぶ

4 撮影する

シャッターボタンをポンと1回押すと

5秒間音声が記録されます。

シャッターボタンを押し続けると

押し続けている間、音声が記録されます（最長40秒間）。

通常撮影に戻すには

手順**3**で［通常撮影］を選んでください。

- ボイスメモで撮影した画像を見るには、「液晶画面で動画を見る」（45ページ）と同じ操作をおこなってください。
- ボイスメモの撮影枚数は68ページをご覧ください。

場面に合わせて撮る

– シーンセレクション

モードダイヤル：SCN

夜景、夜景と人物、風景、ポートレート、雪景色、水辺を撮影するときは、下記のモードを使用して効果を高めることもできます。
シャッタースピードが1/6秒またはそれよりも遅い設定になると自動的にNRスローシャッター（10ページ）機能が働きます。

夜景モード

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影することができます。シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。



- 近接（マクロ）撮影はできません。
- フラッシュは使えません。

夜景＆人物モード

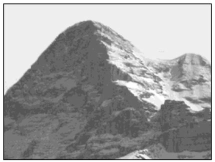
夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際だたせた画像を撮影することができます。シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。



- フラッシュが強制発光します。

風景モード

遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。



- 近接（マクロ）撮影はできません。
- フラッシュは（強制発光）または（発光禁止）になります。

ポートレートモード

背景をぼかし、被写体の人物を際だたせた画像を撮影することができます。



スノーモード

雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにします。



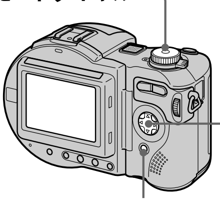
- フラッシュは（強制発光）または（発光禁止）になります。

🏝 ビーチモード

海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録します。



- フラッシュは⚡(強制発光) または⊘(発光禁止) になります。



1 **モードダイヤルを「SCN」にする**

2 **MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 **◀で [SCN]、▲/▼で希望のモードを選ぶ**

シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルを「SCN」以外にしてください。

- 3枚連写またはブラケット撮影をすると、シャッタースピードが速くなるため意図した画像が撮れないことがあります。
- NRスローシャッター機能が働くと、撮影に時間がかかる場合があります。
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

画像に特殊効果を加えて撮る

– ピクチャーエフェクト

モードダイヤル：P/S/A/M/SCN/🎞

画像に特殊効果を加え、メリハリをつけることができます。

ソラリ



明暗をはっきりさせたイラストのように

セピア

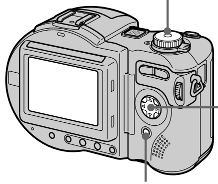


古い写真のような色合いに

ネガアート



写真のネガフィルムのように



1 **モードダイヤルを「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞」のいずれかにする**

2 **MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 **◀/▶で［PFX］（P.エフェクト）、▲/▼で希望のモードを選ぶ**

ピクチャーエフェクトを解除するには

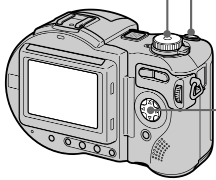
手順**3**で［切］を選んでください。

画像を記録するかどうかを確認する

– 書き込み確認

モードダイヤル：📷/P/S/A/M/SCN

撮影した画像を本機に一時的に保存し、撮影した画像をディスクに書き込むかどうかを確認することができます。不要な画像をディスクに記録する前に削除すればディスク残量は減りません。

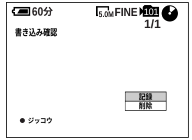


1 **モードダイヤルを「SET UP」にする**

2 **▲/▼で［💿2］（ディスクツール2）、▶/▼で［書き込み確認］、▶/▲で［入］を選び、中央の●を押す**

3 **モードダイヤルを「📷」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする**

4 **撮影する**



5 **▲/▼で［記録］または［削除］を選び、中央の●を押す**

［記録］を選んだとき

「記録中」と表示され、画像がディスクに記録されます。

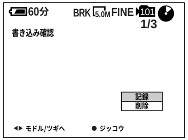
［削除］を選んだとき

［実行］を選び、●を押すと画像はディスクに記録されません。
［キャンセル］を選び、●を押すと前の画面に戻ります。

- モードダイヤルを「🎞」（マルチ連写）の位置にしても操作できます。

ブラケットや3枚連写で撮影した画像の書き込みを確認するには

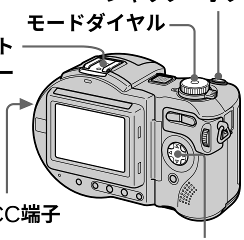
手順**5**で◀/▶を押して3枚の画像を順に表示させ、1枚ずつ記録するかどうかを確認できます。



外部フラッシュを使う

モードダイヤル：📷/P/S/A/M/SCN

外部フラッシュを使うと、より鮮明なフラッシュ撮影をすることができます。



- 3枚連写、ブラケット、🌙（夜景モード）、動画（MPEGムービー）、マルチ連写ではフラッシュは発光しません。
- 外部フラッシュと本機の内蔵フラッシュは同時には発光しません。
- 2つ以上の外部フラッシュを使用して撮影すると、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となる事がありますのでご注意ください。
- モードダイヤルを「🎞」（クリップモーション）の位置にしても操作できます。

ソニー製専用フラッシュHVL-F32Xを使う

本機のアドバンストアクセサリーシューには、ソニー製の専用フラッシュHVL-F32Xを取り付けて使用することができます。HVL-F32Xは自動発光量調節、AF補助光による撮影機能も搭載しています。

1 **アドバンストアクセサリーシューに専用外部フラッシュHVL-F32Xを取り付ける**

2 **HVL-F32Xの電源を入れる**

3 **モードダイヤルを「📷」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかにする**

4 **撮影する**

- ソニー製の専用の外部フラッシュを使用するときは、「SET UP」の［ホットシュー］が［切］であることを確認してください。

ソニー製専用フラッシュHVL-F1000を使う

本機のアドバンストアクセサリーシューには、ソニー製の専用フラッシュHVL-F1000を取り付けて使用することができます。

1 アドバンストアクセサリーシューに専用外部フラッシュHVL-F1000**を取り付ける**

2 ACC**端子にフラッシュのプラグを差し込む**

3 HVL-F1000**の電源を入れる**

4 モードダイヤルを「📷」、「P**」、「**S**」、「**A**」、「**M**」、「**SCN**」のいずれかにする**

5 撮影する

- ソニー製の専用の外部フラッシュを使用するときは、「SET UP」の［ホットシュー］が［切］であることを確認してください。

市販のフラッシュを使う

本機のアドバンストアクセサリーシューには、市販の外部フラッシュを取り付けることもできます。

1 アドバンストアクセサリーシューに外部フラッシュを取り付ける

2 モードダイヤルを「SET UP**」にする**

3 ▲/▼で［📷2］（カメラ2）、▶/▼で［ホットシュー］、▶/▲で［入］を選び、中央の●を押す

4 市販の外部フラッシュの電源を入れる

詳しくは、お使いのフラッシュに付属の取扱説明書をご覧ください。

5 モードダイヤルを「M**」または「**A**」にする**

モードダイヤルが「📷」、「P」、「S」、「SCN」、「🎞（クリップモーション）」でもフラッシュは発光しますが、「M」または「A」での撮影をおすすめします。

6 撮影する

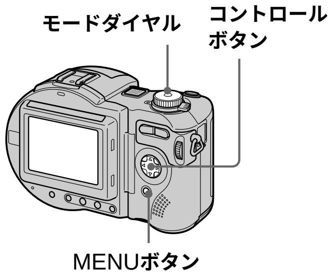
- 絞り数値は、ご使用のフラッシュのガイドナンバーと被写体との距離から最も適した値を設定してください。
- フラッシュのガイドナンバーは、カメラのISO感度（71ページ）で変わります。ISO感度をご確認ください。
- 他社の特定のカメラ専用とされているフラッシュ（一般にアドバンストアクセサリーシューに複数の接点を持つフラッシュ）、高圧タイプのフラッシュ、およびフラッシュ用の付属品を使用すると、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- 「SET UP」の［ホットシュー］を［切］のまま撮影すると、内蔵フラッシュが持ち上がることがあります。そのときは、内蔵フラッシュを元に戻して、「SET UP」の［ホットシュー］を「入」にしてください。

フォルダを選択して再生する

ー フォルダ

モードダイヤル：▶

再生したい画像の入っているフォルダを選択します。



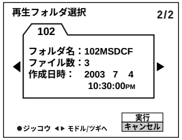
1 モードダイヤルを「▶」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀で［フォルダ］を選び、中央の●を押す

4 ◀/▶で再生したいフォルダを表示する



5 ▲で［実行］を選び、中央の●を押す

再生フォルダの選択を中止するには

手順5で［キャンセル］を選んでください。

ディスクに複数のフォルダがあるときは

フォルダ内の最初／最後の画像に下記のマークが表示されます。

↵：前のフォルダに移動できます。

↳：次のフォルダに移動できます。

↵↳：前のフォルダにも、次のフォルダにも移動できます。

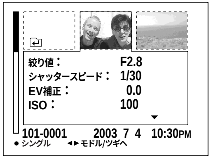
シングル画面のとき



インデックス（9枚表示）画面のとき



インデックス（3枚表示）画面のとき

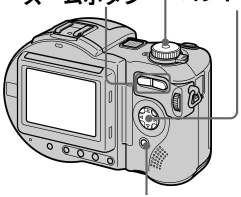


- 再生フォルダ内に画像がないときは、「このフォルダにはファイルがありません」と表示されます。
- 再生フォルダを選択しなくても最後に撮影した画像から再生できます。

画像を拡大する – 再生ズーム

モードダイヤル：▶

撮影した画像を元の画像の5倍まで拡大することができます。また、拡大した画像を新しいファイルとして記録することができます。



1 モードダイヤルを「▶」にする

2 拡大したい画像を表示する

3 ズームTボタンを押して、画像を拡大する

4 ▲/▼/◀/▶を繰り返し押して、拡大したい部分を選ぶ

▲を押す

◀を押す



▶を押す

▼を押す

▲：画像の上側を見るとき
▼：画像の下側を見るとき
◀：画像の左側を見るとき
▶：画像の右側を見るとき

4 ズームW/Tボタンで画像の大きさを調節する



拡大表示をやめるには

中央の●を押してください。

- 動画（MPEGムービー）／クリップモーション／マルチ連写で撮影した画像は再生ズームできません。
- 拡大していない画像が表示されているときにズームWボタンを押すと、インデックス画面に切り換わります（**別冊基本編** ➞ 32ページ）。
- クイックレビュー（**別冊基本編** ➞ 23ページ）で表示した画像も、手順3から5の操作で拡大することができます。

拡大した画像を記録する
ー トリミング

1 再生ズーム後にMENUボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▶で［トリミング］を選び、中央の●を押す

3 ▲/▼で画像サイズを選び、中央の●を押す

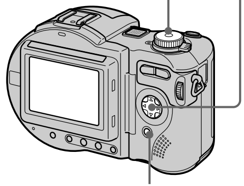
画像が記録され、拡大前の画像表示に戻ります。

- トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録フォルダに記録されます。元の画像はそのまま残ります。
- トリミングした画像は画質が劣化する場合があります。
- 3:2の画像サイズにトリミングすることはできません。
- 非圧縮（TIFF）画像はトリミングできません。
- クイックレビューで表示した画像はトリミングできません。
- トリミングするとディスク残量は減ります。
- ディスク残量が少ない場合、トリミングできないことがあります。

連続して再生する
ー スライドショー

モードダイヤル：▶

撮影した画像を順番に再生します。画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。



1 モードダイヤルを「▶」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［スライドショー］を選び、中央の●を押す

▲/▼/◀/▶で下記の設定を選んでください。

間隔設定
5秒／10秒／30秒／1分

再生画像
フォルダ内：選択しているフォルダ内の画像がすべて再生される。
全て：ディスク内のすべての画像が再生される。

繰り返し
入：繰り返し再生される（約20分）*。
切：すべての画像が再生されると、スライドショーは終了する。

* すべての画像をひととおり再生し終わるまでは、20分をこえても終了しません。

4 ▼/▶で［スタート］を選び、中央の●を押す

スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するには

手順3で［キャンセル］を選んでください。

スライドショーの再生を中止するには

中央の●を押して、▶で［終了］を選び、●を押してください。

スライドショー再生中に画面を送る／戻すには

▶（送り）または◀（戻し）を押してください。

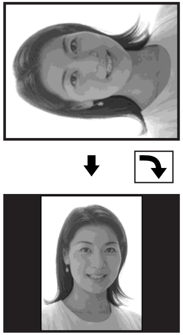
- ［間隔設定］の設定時間は目安です。再生画像のサイズなどにより、変わることがあります。

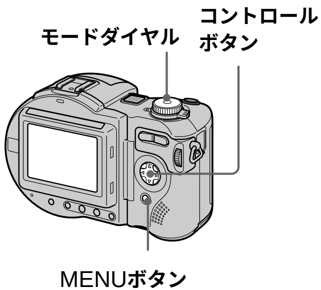
静止画を回転する

ー 回転

モードダイヤル：▶

カメラを縦にして撮影した画像を、回転して表示することができます。





1 モードダイヤルを「▶」にして、回転させたい画像を表示する

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ▶で［回転］を選び、中央の●を押す

4 ▲で［↶ ↷］を選び、◀/▶で画像を回転させる

5 ▲/▼で［実行］を選び、中央の●を押す

回転を中止するには

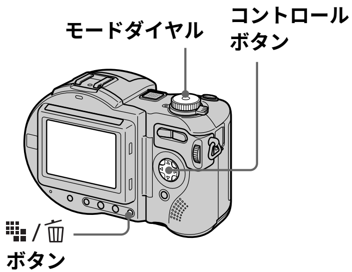
手順4または5で［キャンセル］を選んでください。

- プロテクトされている画像／動画（MPEGムービー）／クリップモーション／マルチ連写／非圧縮（TIFF）画像で撮影した画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

マルチ連写の画像を再生する

モードダイヤル：▶

マルチ連写で撮影した画像を順番に再生したり、一コマずつ再生したりすることができます。画像のチェックなどに便利です。



- パソコンで再生すると撮影された16コマが1枚の画像として同時に表示されます。マルチ連写機能のないカメラで再生した場合も同様です。

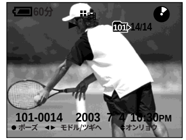
- 回転するとディスク残量は減ります。
- ディスク残量が少ない場合、回転できないことがあります。

連続して再生する

1 モードダイヤルを「▶」にする

2 ◀/▶でマルチ連写の画像を選ぶ

マルチ連写画像が順番に再生されます。



一時停止するには

中央の●ボタンを押します。解除するときは、もう一度中央の●を押してください。表示されていたコマから連続再生が始まります。

一コマずつ再生する
– ジョグ再生

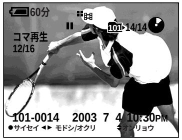
1 モードダイヤルを「▶」にする

2 ◀/▶でマルチ連写の画像を選ぶ

マルチ連写画像が順番に再生されます。

3 コマ再生したい場所で中央の●を押す

コマ再生表示が表示されます。



4 ◀/▶で画像を送る

▶: 次のコマが表示されます。
押し続けるとコマが順送りされます。

◀: 前のコマが表示されます。
押し続けるとコマが逆送りされます。

連続再生に戻るには

手順4で中央の●を押してください。表示されていたコマから連続再生が始まります。

撮影した画像を削除するには

マルチ連写で撮影した画像は希望のコマのみを削除することができません。削除を実行すると、16コマすべてが削除されます。

1 削除したいマルチ連写の画像を表示する。

2 ⊞/🗑（削除）ボタンを押す。

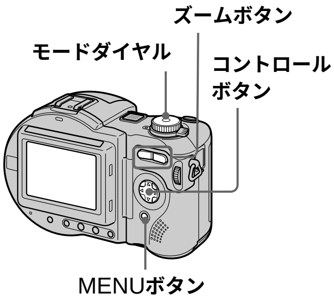
3 ［削除］を選び、中央の●を押す。
すべてのコマが削除されます。

画像を保護する

ー プロテクト

モードダイヤル：▶

大切な画像を誤って消さないように保護します。



- プロテクトするとディスク残量は減ります。プロテクトマークを消してもさらに減ります。
- ディスク残量が少ない場合、プロテクトできないことがあります。
- プロテクトには時間がかかる場合があります。

シングル画面のとき

1 **モードダイヤルを「▶」にする**

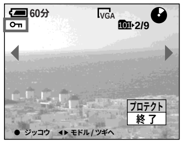
2 **◀▶ でプロテクトをかけたい画像を表示する**

3 MENU**ボタンを押す**

メニューが表示されます。

4 **◀▶ で［プロテクト］を選び、中央の●を押す**

表示されている画像にプロテクトがかかり、O╖（プロテクト）マークが付きます。



5 **他の画像にもプロテクトをかけたいときは、◀/▶でプロテクトをかけたい画像を表示し、中央の●を押す**

プロテクト指定を解除するには

手順**4**または**5**でもう1度中央の●を押してください。O╖マークが消えます。

インデックス（9枚表示）画面のとき

1 **モードダイヤルを「▶」にして、ズーム**W**（インデックス）ボタンを1回押してインデックス（9枚表示）画面にする**

2 MENU**ボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 **◀▶ で［プロテクト］を選び、中央の●を押す**

4 **◀▶ で［選択］を選び、中央の●を押す**

5 **プロテクトをかけたい画像を▲/▼/◀▶ で選び、中央の●を押す**

選んだ画像に緑色のO╖マークがつきます。



6 他の画像にもプロテクトをかけたいときは、手順5を繰り返す

7 MENUボタンを押す

8 ▶ で［実行］を選び、中央の●を押す

⊶マークが白色に変わり、選択した画像にプロテクトがかかります。

プロテクトを中止するには

手順4で[キャンセル]を、または手順8で［終了］を選び、中央の●を押してください。

プロテクト指定を解除するには

手順5でプロテクトを解除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押します。⊶マークがグレーに変わります。プロテクトを解除したいすべての画像について繰り返します。次にMENUボタンを押し、［実行］を選び、中央の●を押してください。

フォルダ内のすべての画像をプロテクトするには

手順4で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押します。次に［入］を選び、中央の●を押してください。

フォルダ内のすべての画像のプロテクト指定を解除するには

手順4で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押します。次に［切］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（3枚表示）画面のとき

1 モードダイヤルを「▶」にして、ズームW（インデックス）ボタンを2回押して、インデックス（3枚表示）画面にする

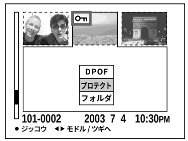
2 ◀▶ でプロテクトをかけたい画像を中央に表示する

3 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

4 ▲▼ で［プロテクト］を選び、中央の●を押す

画面中央の画像にプロテクトがかかり、⊶マークが付きます。



5 他の画像にもプロテクトをかけたいときは、◀▶ でプロテクトをかけたい画像を中央に表示し、手順4を繰り返す

静止画を編集する

プロテクト指定を解除するには

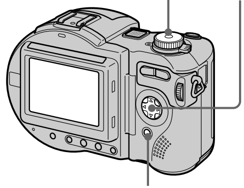
手順4でプロテクトを解除したい画像を選び、中央の●を押します。プロテクトを解除したいすべての画像について繰り返してください。

画像のサイズを変える

ー リサイズ

モードダイヤル：▶

撮影した画像のサイズを変えて、新しいファイルとして記録できます。
5.0M、3.1M、1.2M、VGAのサイズに変えられます。
リサイズした後も元の画像はそのまま残ります。



1 モードダイヤルを「▶」にする

2 ◀▶ でサイズを変えたい画像を表示する

3 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

4 ◀▶ で［リサイズ］を選び、中央の●を押す

5 ▲▼ で変更したいサイズを選び、中央の●を押す

リサイズした画像は選択している記録フォルダに一番新しいファイルとして記録されます。

リサイズを中止するには

手順5で［キャンセル］を選んでください。

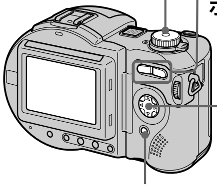
- 動画（MPEGムービー）／クリップモーション／マルチ連写／非圧縮（TIFF）画像で撮影した画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画像が劣化します。
- 3:2の画像サイズにリサイズすることはできません。
- 3:2の画像をリサイズすると、画像の上下に黒い帯が入ります。
- リサイズするとディスク残量は減ります。
- ディスク残量が少ない場合、リサイズできないことがあります。

プリント予約をする

– プリント予約マーク

モードダイヤル：▶

プリントしたい画像をあらかじめ本機で予約することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店やプリンターで画像をプリントするときなどに便利な機能です。



- 動画（MPEGムービー）／クリップモーションで撮影した画像はプリント予約マークは付けられません。
- Eメールモードのときは、同時に記録された通常サイズの画像にプリント予約マークが付きます。
- マルチ連写で撮影した画像は16分割された1枚の画像としてプリント予約マークが付きます。
- TIFFモードで撮影した画像にプリント予約マークを付けると、非圧縮（TIFF）画像のみプリントされ、同時に記録されたJPEG画像はプリントされません。
- プリント予約マークをつけるとディスク残量は減ります。プリント予約マークを消してもさらに減ります。
- ディスク残量が少ない場合、プリント予約マークを付けられないことがあります。
- DPOF規格に対応しているお店でプリントするときはディスクをファイナライズしてください（**別冊基本編** ➡ 40ページ）。

シングル画面のとき

1 モードダイヤルを「▶」にする

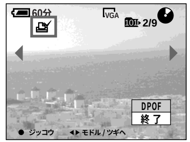
2 ◀/▶でプリント予約したい画像を表示する

3 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

4 ◀/▶で［DPOF］を選び、中央の●を押す

表示されている画像に（プリント予約）マークが付きます。



5 他の画像にもプリント予約マークを付けたいときは、◀/▶でプリント予約したい画像を表示し、中央の●を押す

プリント予約マークを消すには

手順4または5でもう一度中央の●を押してください。マークが消えます。

インデックス（9枚表示）画面のとき

1 モードダイヤルを「▶」にして、ズームW（インデックス）ボタンを1回押してインデックス（9枚表示）画面にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ▶で［DPOF］を選び、中央の●を押す

4 ◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す

- ［フォルダ内全て］で 🖨✓ マークを付けることはできません。

5 プリント予約したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す

選んだ画像に緑色の 🖨✓ マークが付きます。



6 他の画像にもプリント予約マークを付けたいときは、手順5を繰り返す

7 MENUボタンを押す

8 ▶で［実行］を選び、中央の●を押す

🖨✓ マークが白色に変わり、設定が完了します。

プリント予約マークを消すには

手順5で 🖨✓ マークを消したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押してください。

フォルダ内のすべての画像のプリント予約マークを消すには

手順4で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押します。次に［切］を選び、中央の●を押してください。

プリント予約マークを中止するには

手順4で[キャンセル]を、または手順8で［終了］を選んでください。

インデックス（3枚表示）画面のとき

1 モードダイヤルを「▶」にして、ズームW（インデックス）ボタンを2回押して、インデックス（3枚表示）画面にする

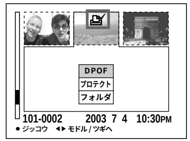
2 ◀/▶でプリント予約したい画像を中央に表示する

3 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

4 ▲で［DPOF］を選び、中央の●を押す

画面中央の画像に 🖨✓ マークが付きます。



5 他の画像にもプリント予約マークを付けたいときは、◀/▶でプリント予約したい画像を中央に表示し、手順4を繰り返す

プリント予約マークを消すには

手順4でもう一度中央の●を押します。マークが消えます。マークを消したいすべての画像について繰り返してください。

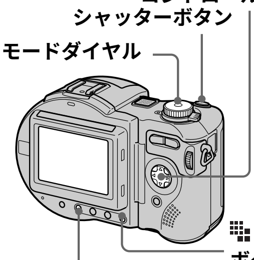
動画を撮る

モードダイヤル：

音声付きの動画（MPEGムービー）を撮影できます。

操作の前に

「SET UP」の［動画選択］を［MPEGムービー］にしておきます（4、75ページ）。



1 モードダイヤルを「」にする

2 /（画像サイズ）ボタンを押す

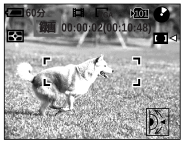
画像サイズが表示されます。

3 ▲/▼で希望のサイズを選ぶ

640（VGA）、160（Mail）から選べます。
各サイズによる記録時間については、69ページをご覧ください。

4 シャッターボタンを深く押し込む

「録画」と表示され、画像と音声の記録が始まります。



- ディスクの残量がなくなると停止します。

5 録画を止めるには、シャッターボタンをもう一度深く押し込む

撮影中の画面上の表示は

画像には記録されません。
DISPLAY/LCD BACK LIGHT ON/OFFボタンを押すたびに、画面表示オフ→バックライトオフ→画面表示オンの順で変わります。
ヒストグラムは表示されません。

表示される項目について詳しくは、87ページをご覧ください。

近接（マクロ）撮影する

モードダイヤルを「」にしてから、**別冊基本編** ➡ 25ページの手順に従ってください。

セルフタイマーで撮影する

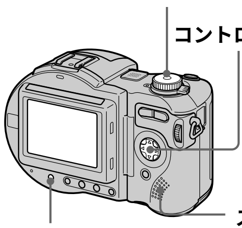
モードダイヤルを「」にしてから、**別冊基本編** ➡ 26ページの手順に従ってください。

- 撮影するときは、マイク（**別冊基本編** ➡ 8ページ）に指が触れないようにご注意ください。
- フラッシュは使えません。
- 動画では、日付・時刻は挿入されません。
- 動画撮影中にはズーム倍率を変更することはできません。

液晶画面で動画を見る

モードダイヤル：▶

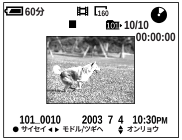
本機の液晶画面で動画を見ることができます。音声も本機のスピーカーから聞こえます。



1 モードダイヤルを「▶」にする

2 ◀/▶で見たい動画を選ぶ

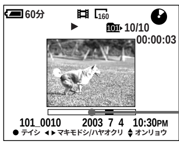
画像サイズ［160（Mail）］で撮影した動画はひとまわり小さく表示されます。



- 画像サイズ［640（VGA）］で撮影した動画は液晶画面いっぱいに表示されます。

3 中央の●を押す

動画と音声が再生されます。
再生中は▶（再生）が画面に表示されます。



再生を止めるには

中央の●を押してください。

音量を調節するには

▲/▼を押してください。

早送り／巻き戻しをするには

再生中に▶（送り）または◀（戻し）を押します。
通常の再生に戻るには、中央の●を押してください。

動画再生中の画面上の表示は

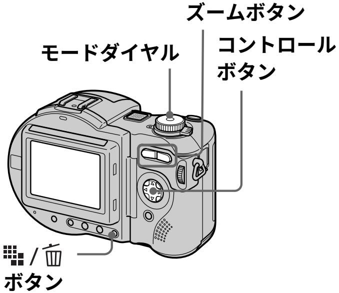
DISPLAY/LCD BACK LIGHT ON/OFFボタンを押すたびに、画面表示オフ→バックライトオフ→画面表示オンの順で変わります。
ヒストグラムは表示されません。
表示される項目について詳しくは、89ページをご覧ください。

- 動画をテレビで見る方法は、静止画と同じです（**別冊基本編** ➡ 33ページ）。
- 当社従来モデルで撮影した画像を再生すると、ひとまわり小さく表示される場合があります。

動画を削除する

モードダイヤル：▶

不要な動画を削除します。



- CD-Rでは画像を消してもディスク残量は増えません。
- CD-RWではⓟが液晶画面に出ている場合に限り、その時点で最新の画像を消すとディスク残量は元に戻ります。画像を加工したり、ディスクカバーを開閉したりするとⓟは消えます。
- ディスク残量が少ない場合、削除できないことがあります。

シングル画面のとき

1 モードダイヤルを「▶」にする

2 ◀/▶で削除したい動画を表示する

3 /🗑（削除）ボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

4 ▲で［削除］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が消えると、動画が削除されます。

5 他の動画も削除するときは、◀/▶で削除したい動画を表示し、手順4を繰り返す

削除を中止するには

手順4または5で［終了］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（9枚表示）画面のとき

1 モードダイヤルを「▶」にして、ズームW（インデックス）ボタンを1回押してインデックス（9枚表示）画面にする

2 /🗑（削除）ボタンを押す

3 ◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す

4 削除したい動画を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す

選んだ動画に🗑（削除）マークが付きます。



この時点ではまだ削除されていません。

5 他の動画も削除するときは、手順4を繰り返す

6 ⊞/🗑(削除) ボタンを押す

7 ▶で［実行］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が消えると、動画が削除されます。

削除を中止するには

手順3または7で［終了］を選んでください。

フォルダ内のすべての動画を削除するには

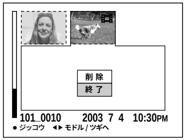
手順3で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押します。次に［実行］を選び、中央の●を押します。削除を中止するときは、◀で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（3枚表示）画面のとき

1 モードダイヤルを「▶」にして、ズームW（インデックス）ボタンを2回押してインデックス（3枚表示）画面にする

2 ◀/▶で削除したい動画を中央に表示する

3 ⊞/🗑(削除) ボタンを押す



この時点ではまだ削除されていません。

4 ▲で［削除］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が消えると、中央の動画が削除されます。

削除を中止するには

手順4で［ 終了］を選んでください。

動画を撮る

「ImageMixer」をインストールする

「ImageMixer」はWindows に対応しています。

本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「ImageMixer Ver.1.5 for Sony（イメージミキサーバージョン1.5フォーソニー）」を使うと、本機で撮影した画像をお使いのパソコンで手軽に楽しめます。

- パソコンの動作環境について詳しくは、CD-ROMに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。

ImageMixerに関するお問い合わせ
ピクセラユーザーサポートセンター
電話：072-224-0181
受付時間：月〜日　午前9時〜午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
URL：http://www.imagemixer.com

1 パソコンの電源を入れる

- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。
- Windows XPをお使いの方は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。



機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイコンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

3「CD Mavica」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする



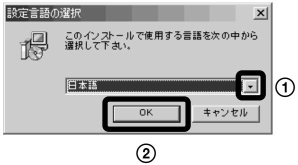
インストールメニューが表示されます。

4 インストールメニュー画面の中の「ImageMixer」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする



「設定言語の選択」画面が表示されます。

5 [▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする



「ImageMixer用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

6 画面の指示に従って操作する

続けて指示に従って「ImageMixer」と「WinCDR Lite for Data」のインストールを行う。

インストール完了後、DirectXの「情報」画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールし、再起動してください。その後、手順8に進んでください。

7 画面の指示に従って再起動する

8 再起動後に、パソコンからCD-ROMを取り出す

「ImageMixer」で画像を取り込む

「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って、ファイナライズしたディスクからパソコンに画像を取り込みます。

• 「Image Mixer」の使いかたについて詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

ここでは、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーします。

1 「ImageMixer」を起動する

デスクトップ画面上の (ImageMixer Ver.1.5 for Sony) をダブルクリックします。
「ImageMixer」が起動し、メイン画面が表示されます。

2 をクリックする

画像を取り込むための画面が表示されます。



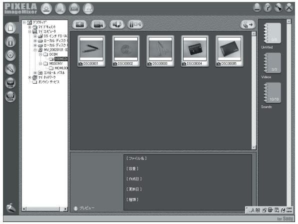
3 画像をパソコンに取り込む

① ファイナライズしたディスクをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。

② 画面左上の をクリックする。

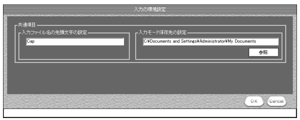
③ 表示されるツリーから、「マイコンピュータ」→「CD-ROMドライブ」(例：MV_20030101(E:))→「DCIM」の下のフォルダをクリックする

選択したフォルダ内の画像が一覧表示されます。



④ 画面右上のをクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

⑤「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、表示される「フォルダの参照」画面で［マイドキュメント］をクリックして、［OK］をクリックする。



⑥ をクリックする。

⑦ 画面右上のをクリックする。

⑧ パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする。
画像がパソコンに取り込まれます。

• 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

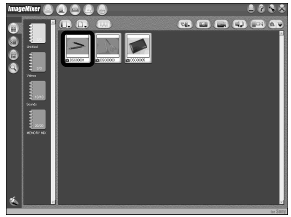
「ImageMixer」で画像を見る

49ページでパソコンに取り込んだ画像を「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って見ます。

• 「ImageMixer」を使うと、取り込んだ画像を編集することもできます。詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

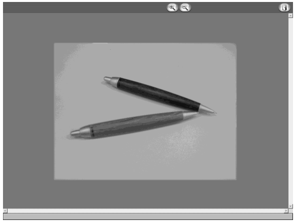
1 をクリックする

画像を見るための画面が表示されます。



2 表示したい画像をダブルクリックする

選んだ画像が表示されます。



動画を再生するには ►、再生を停止するには ⏸ をクリックします。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックしてください。

「ImageMixer」で画像を印刷する

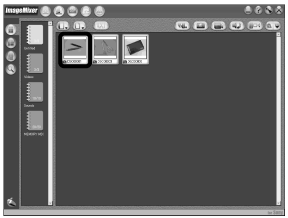
「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」で開いた画像をプリンタで印刷します。
あらかじめプリンタとパソコンを接続し、両方の機器の電源を入れておきます。
プリンタの接続や設定などについて詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 動画の場合は先頭のシーンが印刷の対象となります。

1 画像を表示する

50ページの手順**1**の操作を行ってください。

2 印刷したい画像をクリックする

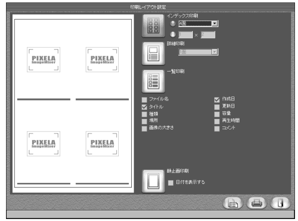


3 をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする

「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

4 レイアウトを設定する

お好みに応じて設定してください。

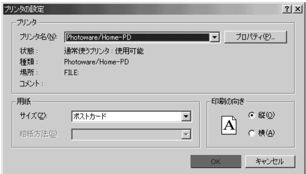


通常は画面下の をクリックします。

5 用紙の設定をする

① 画面右下の をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

② 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、[OK] をクリックする



6 印刷する

① 画面右下の をクリックする。
「印刷」画面が表示されます。

② [OK] をクリックする。



画像が印刷されます。

印刷できないときは

プリンタの接続や設定が正しいかどうか確認してください。詳しくは、お使いのプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 印刷する画像サイズ、パソコン環境などによっては、印刷に時間がかかることがあります。

ビデオCDを作成する

別売りの12cmCD-RでビデオCDを作成することができます。
作成したビデオCDはビデオCD対応のDVDプレーヤーで再生できます。パソコンをご利用のお客様はビデオCD対応のアプリケーションソフトで再生できます。

1 「ImageMixer」を起動する

2 をクリックする



ビデオディスク作成モードが起動します。

3 ファイルやアルバムをメニュー画面にドラッグ&ドロップする

メニュー画面に画像が追加されます。



4 をクリックする



プレビューを行うこともできます。

5 をクリックする

ディスク作成のダイアログが表示されます。



6 CD-Rドライブに新しいCD-Rを入れて［OK］ボタンをクリックする

ディスクの作成が始まります。

- CD-RWはお使いになれません。
- ビデオCDの作成にはCD-Rドライブが必要です。

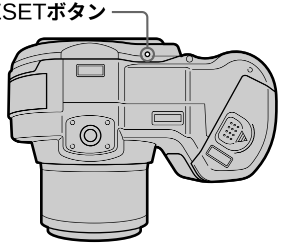
故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

1 54〜64ページの項目をチェックし、本機を点検する

画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。67ページをご覧ください。

2 本体底面にあるRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる
（この操作を行うと、日時などの設定は解除されます）



3 デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページを確認する
http://www.sony.co.jp/support-di/

4 テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）

バッテリー・電源

症状	原因	処置
バッテリーが充電できない。	• 本機の電源が入っている。	→ 本機の電源を切る（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。
本機にバッテリーを入れられない。	• 正しく入れていない。	→ バッテリーの先端でバッテリー取りはずしつまみを外側に押しながら入れる（**別冊基本編** ➡ 10ページ）。
バッテリー充電中、⚡/CHGランプが点滅する。	• バッテリーが正しく取り付けられていない。 • バッテリーが故障している。	→ バッテリーを正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 10ページ）。 → テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

症状	原因	処置
バッテリー充電中、⚡/CHGランプが点灯していない。	• ACアダプターがはずれている。 • バッテリーが正しく取り付けられていない。 • 充電が完了している。	➔ きちんと接続し直す（**別冊基本編** → 10ページ）。 ➔ バッテリーを正しく取り付ける（**別冊基本編** → 10ページ）。 —
バッテリーの残量表示が正しくない。またはバッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	• 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 • 残量表示機能と実際の残量にズレが生じた。 • バッテリーが消耗している。 • バッテリーそのものの寿命（82ページ）。	— ➔ バッテリーを使い切った後充電すると、残量表示機能が正しくなる（**別冊基本編** → 11ページ）。 ➔ 充電されたバッテリーを取り付ける（**別冊基本編** → 10ページ）。 ➔ 新しいバッテリーと交換する。
バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮影／再生している。 • 充電が不充分。 • バッテリーそのものの寿命（82ページ）。	— ➔ 充電する（**別冊基本編** → 10ページ）。 ➔ 新しいバッテリーと交換する。
電源が入らない。	• バッテリーが正しく取り付けられていない。 • ACアダプターがはずれている。 • バッテリーが消耗している。 • バッテリーそのものの寿命（82ページ）。	➔ バッテリーを正しく取り付ける（**別冊基本編** → 10ページ）。 ➔ きちんと接続し直す（**別冊基本編** → 13ページ）。 ➔ 充電されたバッテリーを取り付ける（**別冊基本編** → 10ページ）。 ➔ 新しいバッテリーと交換する。
電源が途中で切れる。	• 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる（**別冊基本編** → 14ページ）。 • バッテリーが消耗している。	➔ 電源を入れ直すか（**別冊基本編** → 14ページ）ACアダプターを使う（**別冊基本編** → 13ページ）。 ➔ 充電されたバッテリーを取り付ける（**別冊基本編** → 10ページ）。

症状	**原因**	**処置**
電源を入れても液晶画面がつかない。	• 前回使用時、バックライトオフで電源を切った。	→ バックライトをオンにする（**別冊基本編** → 29ページ）。
液晶画面に被写体が写らない。	• モードダイヤルが「」または「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「」になっていない。	→ モードダイヤルを「」または「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「」にする（44ページ、**別冊基本編** → 21ページ）。
フォーカスが合わない。	• 被写体が近すぎる。 • 静止画撮影時、［SCN］の（夜景モード）、（風景モード）が選ばれている。 • 「SET UP」の［コンバージョンレンズ］が［入］になっている。 • フォーカスプリセットになっている。	→ 近接（マクロ）撮影モードにする。近接（マクロ）撮影モードをお使いの場合でも、最短撮影距離よりもカメラを離して撮影してください（**別冊基本編** → 25ページ）。 → （夜景モード）、（風景モード）以外にする。（27ページ）。 → ［切］にする（4、76ページ）。 → オートフォーカスに戻す（14ページ）。
ズームできない。	• 「SET UP」の［コンバージョンレンズ］が［入］になっている。 • 動画（MPEGムービー）撮影中はズーム倍率を変更できない。	→ ［切］にする（4、76ページ）。 —
スマートズームができない。	• 動画（MPEGムービー）撮影中はできない。 • 画像サイズが［5.0M］または［4.5M（3:2）］になっている。 • 「SET UP」の［スマートズーム］が［切］になっている。	— → 画像サイズを［5.0M］または［4.5M（3:2）］以外にする（**別冊基本編** → 19ページ）。 → 「入」にする（4、75ページ）。
画像が暗い。	• 逆光になっている。 • 液晶画面が暗い。 • バックライトがオフになっている。	→ 露出を補正する（15ページ）。 → 画面の明るさを調節する（4、77ページ）。 → バックライトをオンにする（**別冊基本編** → 29ページ）。

症状	原因	処置
画像が明るい。	• 舞台撮影など、暗いところでスポットライトが当たっている状態で撮影している。	→ 露出を補正する（15ページ）。
	• 液晶画面が明るい。	→ 画面の明るさを調節する（4、77ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	• スミアという現象。	→ 故障ではない。
暗い場所で液晶画面を見ると画像にノイズが目立つ。	• 暗い場所でも確認できるように、液晶画面を一時的に明るくする機能が働いている。	→ 撮影される画像には影響ありません。
撮影できない。	• ディスクが入っていない。	→ ディスクを入れる（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
	• ディスクの容量がない。	→ 新しいディスクを入れる。CD-RWをお使いの場合はディスクをフォーマットする（**別冊基本編** ➡ 37ページ）。
	• ディスクがイニシャライズされていない。	→ ディスクをイニシャライズする（**別冊基本編** ➡ 18ページ）。
	• フラッシュ充電中は撮影できない。	—
	• 静止画撮影時、モードダイヤルが「📷」または「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」になっていない。	→ モード ダイヤルを「📷」または「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」にする（**別冊基本編** ➡ 21ページ）。
	• 動画撮影時、モードダイヤルが「🎞」になっていない。	→ モードダイヤルを「🎞」にする（44ページ）。
撮影で長時間かかる。	• NRスローシャッター機能が働いている。	→ 1/6秒より速いシャッタースピードに設定する（10ページ）。

症状	原因	処置
内蔵および別売り専用（HVL-F32X/F1000）フラッシュ撮影ができない。	• モードダイヤルが「📷」または「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞」（クリップモーション）になっていない。 • 設定が⚡（発光禁止）になっている。 • 静止画撮影時、［SCN］の☽（夜景モード）が選ばれている。 • 静止画撮影時、［SCN］の▲（風景モード）、⛄（スノーモード）、🏖（ビーチモード）が選ばれている。 •「SET UP」の［動画選択］が［MPEGムービー］、［マルチ連写］になっている。 •［Mode］（撮影モード）が［3枚連写］または［ブラケット］になっている。 •「SET UP」の［ホットシュー］が［入］になっている。	→ モードダイヤルを「📷」または「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」、「🎞」（クリップモーション）にする（44ページ、**別冊基本編** ➡ 26ページ）。 → オート（表示なし）または⚡（強制発光）、⚡SL（スローシンクロ）にする（**別冊基本編** ➡ 26ページ）。 → 解除する（27ページ）。 → ⚡（強制発光）にする（**別冊基本編** ➡ 27ページ）。 →［MPEGムービー］、［マルチ連写］以外にする →［3枚連写］、［ブラケット］以外の設定にする。 →［切］にする（4、76ページ）。
近接（マクロ）撮影ができない。	•［SCN］の☽（夜景モード）または▲（風景モード）が選ばれている。	→ ☽（夜景モード）、▲（風景モード）以外にする（27ページ）。
被写体の目が赤く写る。	—	→ 赤目軽減モードにする（**別冊基本編** ➡ 27ページ）。
正しい撮影日時が記録されない。	• 日付・時刻が合っていない。	→ 日付・時刻を合わせる（**別冊基本編** ➡ 15ページ）。
シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。	• 露出が合っていない。	→ 露出を補正する（15ページ）。

画像を見る

症状	原因	処置
再生できない。	• モードダイヤルが「▶」になっていない。 • パソコンでフォルダ／ファイルの名前を変更したり、画像を加工したものは本機で再生できない。 • USBモードになっている。	→ モードダイヤルを「▶」にする（**別冊基本編** ➡ 31ページ）。 — → USB接続を終了する（**別冊基本編** ➡ 56ページ）。
表示直後に再生画像が粗い。	—	→ 故障ではない。
テレビに画像が出ない。	•「SET UP」の［ビデオ信号出力］が［PAL］になっている。 • 接続が正しくない。	→ ［NTSC］にする（4、78ページ）。 → 接続を確認する（**別冊基本編** ➡ 33ページ）。
パソコンで再生できない。	—	→ 61ページをご覧ください。
動画再生中、ピロピロという音がする。	• 動画撮影中にオートフォーカスが働いている音。	→ 故障ではない。フォーカスプリセットで撮影する（14ページ）。

画像を削除する／編集する

症状	原因	処置
削除できない。	• 画像がプロテクトされている。 • ディスク残量が少ない。	➔ 画像のプロテクトを解除する（38ページ）。 ➔ 故障ではない。
誤って消してしまった。	• 一度削除した画像は元に戻せない。	➔ 画像にプロテクトをかけると、誤消去を防げます（38ページ）。
リサイズができない。	• 動画（MPEGムービー）／クリップモーション画像／マルチ連写画像／非圧縮（TIFF）画像はリサイズできない。 • ディスク残量が少ない。	— ➔ 故障ではない。
プリント予約マークが付かない。	• 動画（MPEGムービー）／クリップモーション画像にはプリント予約マークを付けられない。 • ディスク残量が少ない。	— ➔ 故障ではない。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/support-di/

症状	原因	処置
対応しているOSが分からない。	—	→「パソコンの推奨使用環境」を確認する（**別冊基本編** → 39ページ）。
PTP Manager**をインストールできない。**	—	→ Windows 2000を使用している場合は、Administrator（管理者権限）でログオンする（**別冊基本編** → 49ページ）。
本機がパソコンに認識されない。	• 本機の電源が入っていない。	→ 本機の電源を入れる（**別冊基本編** → 14ページ）。
	• バッテリー残量が少ない。	→ ACアダプターを使用する（**別冊基本編** → 13ページ）。
	• 付属のUSBケーブルを使っていない。	→ 付属のUSBケーブルを使う（**別冊基本編** → 54ページ）。
	• USBケーブルがしっかり差し込まれていない。	→ 一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、［USBモード］になっていることを確認する（**別冊基本編** → 54ページ）。
	• 付属のCD-ROMからPTP Managerをインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。	→ 正しく認識されなかったデバイスを削除してから、PTP Managerをインストールする（**別冊基本編** → 49､57ページ）。
	• パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。	→ キーボード／マウス以外は取りはずす。
	• PTP Managerがインストールされていない。	→ PTP Managerをインストールする（**別冊基本編** → 49ページ）。
	• 本機がパソコン本体に直接接続されていない。	→ USBハブ経由などで接続せずに本機とパソコンを直接接続する。

パソコン（つづき）

症状	原因	処置
画像をコピーできない。	• 本機とパソコンの接続が正しくない。 • お使いのOSによって手順が違う。 —	➔ 本機とパソコンを正しくUSB接続する（**別冊基本編** ➡ 54ページ）。 ➔ お使いのOSに対応した手順でコピーする（**別冊基本編** ➡ 55、58、61ページ）。 ➔「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、48ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。
画像を再生できない。	— —	➔「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、48ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。 ➔ パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
パソコンのディスクドライブで再生できない。	• ディスクがファイナライズされていない。 • 画像記録中の振動などでエラーが発生した。 • CD-ROMドライブがパケットライトに対応していない。 • CD-ROMドライブがマルチリードに対応していない。 • ディスクに傷、ゴミ、汚れがついている。 —	➔ ディスクをファイナライズする（**別冊基本編** ➡ 40ページ）。 ➔ ディスクを本機に入れて、USB接続すれば再生できる場合があります。 ➔ パソコンメーカーまたはCD-ROMドライブメーカーにお問い合わせください。 ➔ パソコンメーカーまたはCD-ROMドライブメーカーにお問い合わせください。 ➔ ゴミ、汚れはきれいにする。傷のついたディスクは交換する。 ➔ 上記の原因に当てはまらないときは、パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
動画を再生すると画像や音が途切れる。	• ディスクから直接再生している。	➔ パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する。

パソコン（つづき）

症状	原因	処置
画像を印刷できない。	— —	→ お使いのプリンターの設定を確認してください。 →「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
付属のCD-ROMをパソコンにセットするとエラーメッセージが表示される。	• パソコンのディスプレイの設定が正しくない。	→ パソコンのディスプレイの設定を次のようにする。 Windowsの場合： 800×600ドット以上 High Color（16bitカラー、65000色）以上 Macintoshの場合：800×600ドット以上 32000色モード以上

ディスク

症状	原因	処置
記録できない。	• ディスクの容量がいっぱいになっている。	→ 新しいディスクを入れる。CD-RWをお使いの場合はフォーマットする（**別冊基本編** → 37ページ）。
	• ディスクがイニシャライズされていない。	→ イニシャライズする（**別冊基本編** → 18ページ）。
	• ディスクが正しく入っていない。	→ ディスクを正しく入れる（**別冊基本編** → 17ページ）。

その他

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	• “ インフォリチウム ”バッテリーを使っていない。 • バッテリーが残り少ない（表示が出る）。 • ACアダプターがしっかり差し込まれていない。	→ バッテリーは必ず“ インフォリチウム ”バッテリーを使う（82ページ）。 → 充電する（**別冊基本編** → 10ページ）。 → DC IN端子とコンセントにしっかり差し込む（**別冊基本編** → 13ページ）。
電源が入っているのに操作できない。	• 内部システムの誤動作。	→ 電源を取りはずし、約1分後再び電源をつなぎ、本機の電源を入れる。これでも操作できないときは、本体底面のRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる。（この操作をすると日時などの設定が解除される。）
液晶画面上の表示が分からない。	—	→ 表示の種類を確認する（86～89ページ）。
レンズがくもる。	• 結露している。	→ 電源を切って約1時間放置してから使用する（80ページ）。
電源を切ってもレンズが収納されない。	• バッテリーが消耗している。	→ 充電されたバッテリーを取り付けるか、ACアダプターを使用する（**別冊基本編** → 10、13ページ）。
ファイルを再生するとファイルエラーになる。	• ファイルに異常がある。 • 正しく記録されていない。 • ディスクが汚れている。 • ディスクに傷がついている。	— — → ゴミ、汚れはきれいにする（81ページ）。 → 別のディスクを使う。

警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ることがあります。

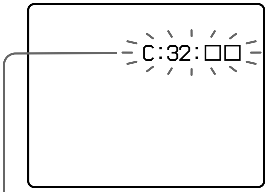
表示	意味／処置
レンズキャップが付いています	• レンズキャップが付いている。レンズキャップを外してください。
ふたが開いています	• ディスクカバーが開いている。ディスクカバーを閉めてください（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
ディスクがありません	• ディスクが入っていない。ディスクを入れてください（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
ドライブエラー	• ドライブの異常。電源を入れ直してください（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。
システムエラー	• ドライブまたは本機の異常。電源を入れ直してください（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。
ディスクエラー	• 本機では使えないディスクが入っている、ディスクが壊れている、または振動、汚れ等でディスクが読めない。
結露しています	• 結露が起きている。約1時間放置してから使用してください（80ページ）。
ディスクがプロテクトされています	• パソコンでプロテクトされたため、記録ができない。
このフォルダにはファイルがありません	• フォルダ内に画像が記録されていない。
フォルダエラー	• 上3桁の番号が同じフォルダがディスク内にある（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するかフォルダを作成してください。
これ以上フォルダ作成できません	• 上3桁の番号が「999」のフォルダがディスク内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。
ディスクの残量が充分ではありません	• ディスクの容量がいっぱいでファイナライズしかできない。
イニシャライズされていません	• イニシャライズされていないため記録できない。ディスクをイニシャライズしてください（**別冊基本編** ➡ 18ページ）。

表示	意味／処置
イニシャライズされています	• すでにイニシャライズされているので、イニシャライズする必要はない。
ファイナライズされています	• すでにファイナライズされているので、ファイナライズする必要はない。
記録できません	• 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択してください(7ページ)。
ファイルエラー	• 画像再生時の異常。
画像サイズオーバーです	• 本機で再生できるサイズより大きい画像を再生しようとしている。
無効な操作です	• 本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。
ファイルがプロテクトされています	• 画像にプロテクトがかけられている。プロテクトを解除してください (38ページ)。
“ インフォリチウム ”バッテリーを使ってください	• “ インフォリチウム ”対応以外のバッテリーを使っている。
バッテリーの残量が充分ではありません	• バッテリーの残量が少ないためイニシャライズ／ファイナライズできない。
	• バッテリーの残量が少ない。バッテリーを充電してください (**別冊基本編** → 10ページ)。ご使用状況やバッテリーパックの種類によっては、バッテリーの残量が5分から10分でも点滅することがあります。
アンファイナライズできません	• CD-Rが入っている。またはファイナライズされていないディスクが入っている。
フォーマットできません	• CD-Rが入っている。
フォーマットエラー	• 本機以外でフォーマットしたディスクを入れた。本機でフォーマットし直してください(**別冊基本編** →37ページ)。
	• 光量不足のため手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使ってください。または、三脚などでカメラをしっかりと固定してください。
電源を入れ直してください	• レンズの誤動作。

自己診断表示

ー アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは右の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。



自己診断表示

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	ハードウェアの異常。	• 電源を入れ直す（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。
C:13:□□	データが読めない／書けない。	• ディスクに汚れがあるときは、ゴミ、汚れを取る（81ページ）。
	本機では使えないディスクを入れた。または、データが壊れている。	• ディスクを交換する（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
E:61:□□ E:91:□□	何らかの異常が起きている。	• 本体底面のRESETボタン（54ページ）を押してから、電源を入れる。

「対応のしかた」を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があります。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際、表示の5桁のすべてをお知らせください。

記録枚数／時間について

画像サイズ、画質によってディスクに記録できる撮影枚数、撮影時間が異なります。

- 記録枚数／時間は撮影状況によっては数値と異なる場合があります。
- 表の数値は付属のCD-R1枚に記録できる枚数／時間です。

静止画の記録枚数 （単位：　枚）

撮影モード		画像サイズ				
		5.0M	4.5 M(3:2)	3.1M	1.2M	VGA
通常撮影	スタンダード	95	95	145	345	1285
	ファイン	51	51	81	194	655
Eメール	スタンダード	91	91	137	303	845
	ファイン	50	50	79	180	518
TIFF	スタンダード	7	8	8	8	8
	ファイン	7	8	7	8	8
ボイスメモ*	スタンダード	89	89	131	276	669
	ファイン	49	49	77	170	446

* 音声記録5秒の場合

動画の記録枚数／時間　　（単位：　枚）

撮影モード	画像サイズ				画質	
	640（VGA）	160 (Mail)	モバイル	ノーマル	スタンダード	ファイン
MPEGムービー	5分51秒	89分11秒	—	—	—	—
クリップモーション*	—	—	1070	505*	—	—
マルチ連写**	—	—	—	—	345	194

* 10コマ撮影した場合

**画像サイズは1.2Mになります。

メニュー項目について

モードダイヤルの位置によって操作できる項目は変わります。
画面には、設定可能な項目のみが表示されます。
■印はお買い上げ時の設定です。

モードダイヤルが「」のとき

項目	設定	意味
Mode（撮影モード）	TIFF	─ JPEGファイルと別に非圧縮（TIFF）ファイルを記録する（25ページ）。
	ボイスメモ	─ JPEGファイルと別に、音声ファイル（静止画付き）を記録する（26ページ）。
	Eメール	─ 設定されている画像サイズと別に小サイズ（320×240）のJPEGファイルを記録する（25ページ）。
	ブラケット	─ 3通りの異なった露出で静止画を3枚連写する（19ページ）。
	3枚連写	─ 3枚連写する（24ページ）。
	■通常撮影	─ 通常の撮影をする。

モードダイヤルが「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のとき

項目	設定	意味
SCN		シーンセレクションを設定する（27ページ）。（「SCN」以外のときは設定できません。）
（測光モード）	スポット／中央重点／■マルチ	撮りたい被写体に露出を合わせる（17ページ）。測光枠を設定する。

モードダイヤルが「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のとき（つづき）

項目	設定	意味
WB（ホワイトバランス）	／WB／／／／／ ■オート	ホワイトバランスを設定する（20ページ）。
ISO	400／200／100／■オート	ISO感度を選ぶ。暗い場所や高速で移動する被写体の撮影には大きい数字を、高画質を得るには小さい数字を選ぶ。（「SCN」のときは設定できません。）
（画質）	■ファイン／スタンダード	高画質で記録する／標準の画質で記録する（6ページ）。
Mode（撮影モード）	TIFF ボイスメモ Eメール ブラケット 3枚連写 ■通常撮影	ー JPEGファイルと別に非圧縮（TIFF）ファイルを記録する（25ページ）。 ー JPEGファイルと別に、音声ファイル（静止画付き）を記録する（26ページ）。 ー 設定されている画像サイズと別に小サイズ（320×240）のJPEGファイルを記録する（25ページ）。 ー 3通りの異なった露出で静止画を3枚撮影する（19ページ）。 ー 3枚連写する（24ページ）。 ー 通常の撮影をする。
±（フラッシュレベル）	明／■標準／暗	フラッシュの発光量を調節する（21ページ）。
PFX（P.エフェクト）	ソラリ／セピア／ネガアート／■切	画像の特殊効果を設定する（28ページ）。
（シャープネス）	＋／■標準／–	画像のシャープネスを調節する。設定が標準のときは、画面にが出ません。（「SCN」のときは設定できません。）
（彩度）	＋／■標準／–	画像の彩度を調節する。設定が標準以外のときは、画面にが出る。（「SCN」のときは設定できません。）
（コントラスト）	＋／■標準／–	画像のコントラストを調節する。設定が標準以外のときは、画面にが出る。（「SCN」のときは設定できません。）

モードダイヤルが「 」のとき（「SET UP」の［動画選択］が［MPEGムービー］のとき）

項目	設定	意味
（測光モード）	スポット／中央重点／■マルチ	撮りたい被写体に露出を合わせる（17ページ）。
WB（ホワイトバランス）	／WB／／／／ ／■オート	ホワイトバランスを設定する（20ページ）。
PFX（P.エフェクト）	ソラリ／セピア／ネガアート／ ■切	画像の特殊効果を設定する（28ページ）。

モードダイヤルが「 」のとき（「SET UP」の［動画選択］が［クリップモーション］のとき）

項目	設定	意味
（測光モード）	スポット／中央重点／■マルチ	撮りたい被写体に露出を合わせる（17ページ）。
WB（ホワイトバランス）	／WB／／／／ ／■オート	ホワイトバランスを設定する（20ページ）。
±（フラッシュレベル）	明／■標準／暗	フラッシュの発光量を調節する（21ページ）。
PFX（P.エフェクト）	ソラリ／セピア／ネガアート／ ■切	画像の特殊効果を設定する（28ページ）。

モードダイヤルが「▦」のとき（「SET UP」の［動画選択］が［マルチ連写］のとき）

項目	設定	意味
⊡（測光モード）	スポット／中央重点／■マルチ	撮りたい被写体に露出を合わせる（17ページ）。
WB（ホワイトバランス）	ワンプッシュ／フラッシュWB／電球／蛍光灯／曇天／太陽光／■オート	ホワイトバランスを設定する（20ページ）。
インターバル	1/7.5／1/15／■1/30（NTSC） 1/6.3／1/12.5／■1/25（PAL）	– NTSCモードでマルチ連写のシャッター間隔を設定する。 – PALモードでマルチ連写のシャッター間隔を設定する。 • 「SET UP」の［ビデオ出力信号］の設定によって、選択できるシャッター間隔が変わります（78ページ）。
（画質）	■ファイン／スタンダード	高画質で記録する／標準の画質で記録する（6ページ）。
PFX（P.エフェクト）	ソラリ／セピア／ネガアート／■切	画像の特殊効果を設定する（28ページ）。

その他

モードダイヤルが「▶」のとき

項目	設定	意味
フォルダ	実行／キャンセル	再生したい画像の入っているフォルダを選ぶ（6ページ）。
プロテクト	ー	画像に誤消去防止指定をする（38ページ）。
DPOF	ー	プリント予約したい静止画像を選ぶ（41ページ）。
スライドショー	間隔設定 再生画像 繰り返し スタート キャンセル	– スライドショーの間隔を設定する（34ページ）。（シングル画面のときのみ） ■5秒／10秒／30秒／1分 – 再生する範囲を設定する。 ■フォルダ内／全て – スライドショーを繰り返し再生する。 ■入／切 – スライドショーを実行する。 – スライドショーの設定および実行を中止する。
リサイズ	5.0M／3.1M／1.2M／VGA／ キャンセル	撮影した静止画の画像サイズを変更する（40ページ）。 （シングル画面のときのみ）
回転	↶／↷／実行／キャンセル	静止画像を↶左回りまたは、↷右回りに回転する（35ページ）。（シングル画面のときのみ）

SET UP項目について

モードダイヤルを「SET UP」にすると、SET UP画面が表示されます。
■印はお買い上げ時の設定です。

（カメラ1）

項目	設定	意味
動画選択	■MPEGムービー／クリップモーション／マルチ連写	動画の撮影モードを選ぶ（44、22、23ページ）。
AF**モード**	シングル／■モニタリング／コンティニュアス	ピント合わせの動作を設定する（12ページ）。
スマートズーム	■入／切	スマートズームを使うかどうか選ぶ（**別冊基本編** → 24ページ）。
日付/時刻	日時分／年月日／■切	画像に日付や時刻を挿入するかどうか設定する（**別冊基本編** → 30ページ）。動画（MPEGムービー）／クリップモーション／マルチ連写では、日付・時刻は挿入されません。また、撮影時は日付や時刻は表示されず、再生時に表示されます。
赤目軽減	入／■切	フラッシュ撮影時、被写体の目が赤く写るのを抑制する（**別冊基本編** → 27ページ）。
ホログラフィックAF	■オート／切	暗いところで撮影するとき、ホログラフィックAFを発光させるかどうかを選ぶ（**別冊基本編** → 27ページ）。フォーカスを合わせやすいようにするための機能です。

(カメラ2)

項目	設定	意味
ブラケット設定	±1.0EV／■±0.7EV／±0.3EV	露出を変えて3枚の画像を撮影するときの露出の振り幅を設定する（19ページ）。
コンバージョンレンズ	入／■切	別売りコンバージョンレンズVCL-MHG07を使うとき[入]にする。このとき、ズームおよびフォーカスプリセットは使えません。また、本機にコンバージョンレンズを取り付けるために必要なアダプターリングVAD-S70は一部の国と地域では販売しておりません。
ホットシュー	入／■切	市販の外部フラッシュを使うときに設定する（30ページ）。

[コンバージョンレンズ] が [入] のときのご注意

- モードダイヤルが「A」または「M」になっていると、絞り値はF4以上しか選べません。
- ズームは使用できません。
- 自動的に近接（マクロ）撮影機能が働きます。（ は表示されません）。

(ディスクツール1)

項目	設定	意味
ファイナライズ	実行／キャンセル	本機でディスクに記録した画像をCD-ROMドライブで見ることができるようにする（**別冊基本編** → 40ページ）。
フォーマット	実行／キャンセル	CD-RWをフォーマットする（**別冊基本編** → 37ページ）。
イニシャライズ	実行／キャンセル	ディスクをイニシャライズする（**別冊基本編** → 18ページ）。
アンファイナライズ	実行／キャンセル	最後に実行したファイナライズを無効にする（**別冊基本編** → 42ページ）。（CD-RWのみ）

(ディスクツール2)

項目	設定	意味
ファイルナンバー	■連番 リセット	– 記録フォルダを変更したり、ディスクを取り換えても、ファイル番号を連続してつける。 – フォルダごとにファイル番号を0001からつける（記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号+１のファイル番号を付ける）。
記録フォルダ作成	実行／キャンセル	新しいフォルダを作成する（7ページ）。
記録フォルダ変更	実行／キャンセル	画像を記録するフォルダを変更する（7ページ）。
書き込み確認	入／■切	ディスクに記録する前に、書き込むか削除するかを確認したいときに設定する（29ページ）。

(設定1)

項目	設定	意味
LCD**明るさ**	明／■標準／暗	液晶画面の明るさを選ぶ。記録される画像に影響はない。
LCD**バックライト**	明／■標準	液晶バックライトの明るさを選ぶ。屋外など明るい場所で使うときに［明］を選ぶと画面は明るく見やすくなるが、バッテリーの消耗は早くなる。バッテリー使用時のみ表示される項目。
お知らせブザー	シャッター ■入 切	– シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 – コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。 – 音は鳴らない。
A言語	ENGLISH ■日本語	– メニュー項目・警告表示などを英語で表示する。 – メニュー項目・警告表示などを日本語で表示する。
時計設定	実行／キャンセル	時計を合わせる（4ページ、**別冊基本編** → 15ページ）。

その他

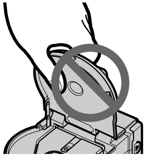
(設定2)

項目	設定	
ビデオ出力信号	■NTSC	– ビデオ出力信号をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。
	PAL	– ビデオ出力信号をPALモードに設定する（欧州など）。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

ディスクカバーを持って本機を運ばない

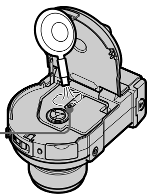


回転中のディスクに手を触れない

けがをするおそれがあります。

ピックアップレンズのお手入れについて

ピックアップレンズが汚れて本機が正常に動作しなくなったときは、市販のブロアーを使ってクリーニングしてください。



ピックアップレンズ

ピックアップレンズについて

本機のピックアップレンズ（ディスクカバーの内側）に触れないでください。また、ほこりがつかないようにディスクを出し入れするとき以外はディスクカバーを閉じておいてください。

置いてはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミがついて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

DCプラグをきれいにする

ACアダプターのDCプラグが汚れたまま使用しないでください。汚れた場合は乾いた綿棒などで拭き取ってください。DCプラグが汚れたままご使用になると、本機が正しく充電されないことがあります。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー
- ベンジン
- アルコール
- 化学ぞうきん
- 殺虫剤のような揮発性のもの
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0°C～40°Cです。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

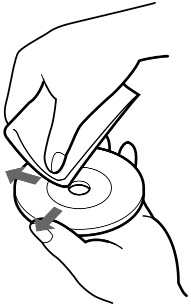
充電方法

本機をACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切ったまま24時間以上放置する。

ディスクの取り扱い上のご注意

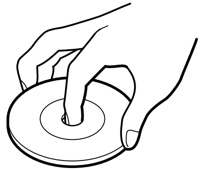
ディスクのお手入れ

- データを記録する前にディスクをクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロアーを使って吹き飛ばしてください。
- ディスクの信号記録面（印刷されていない面）に指紋やほこり、水滴、油などが付着したりすると、正しいデータを記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- ディスクの両面とも傷つけないようにしてください。
- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布またはエチルアルコールを少量付けた柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭き取ってください。CDクリーナーもご使用になれます。
  ベンジン、シンナー、静電気防止剤、LPクリーナーなどは使用しないでください。



ご注意

- データの読み込み中、書き込み中にはディスクを取り出さないでください。
- 以下の場合、データが壊れることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中にディスクを取り出したり、本機に衝撃をあたえた場合
  – 読み込み中本機の電源を切った場合
  – 静電気やノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ディスクにはラベルなど、粘着性のあるものを貼らないでください。回転ムラが生じ、故障の原因になります。
- タイトルなどが記入できるのは白色のレーベル面だけです。ボールペンなどの先の硬いものは避け、油性フェルトペンで記入し、インクが乾くまでは触れないでください。加熱による乾燥は避けてください。
- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。信号記録面（印刷されていない面）には触れないでください。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ディスクの外周部をこすったり、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、熱器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクドライブなどの再生機に未記録の状態でかけると誤動作を起こしたり、ディスクを傷つけたりする場合があります。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM™ M SERIES

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“ インフォリチウム ”バッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“ インフォリチウム ”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、本機で使い切ってから再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーごとに異なります。

主な仕様

■ 本体

[システム]

撮像素子 9.04mm（1/1.8型）カラーCCD
原色フィルター

総画素数 約5 255 000画素

カメラ有効画素数
約5 090 000画素

レンズ 3倍ズームレンズ
f=7〜21.0 mm（35 mmカメラ換算では34〜102 mm）、F2.0〜2.5

露出制御 自動、シャッター優先、絞り優先、マニュアル露出、シーンセレクション（6モード）

ホワイトバランス
オート、太陽光、曇天、蛍光灯、電球、フラッシュ、ワンプッシュ

記録方式（DCF準拠）
静止画：Exif Ver. 2.2 JPEG準拠、GIF（クリップモーション時）、TIFF、DPOF対応
音声付静止画：MPEG1準拠（モノラル）
動画：MPEG1準拠

記録メディア
8cm CD-R/CD-RW

フラッシュ 推奨撮影距離（ISO感度がオートのとき）
0.5〜5.0m

ドライブ

再生記録読み取り方式
非接触光学読み取り（半導体レーザー使用）

レーザー 波長：779〜789 nm
最大出力：23 mW

[入出力端子]

A/V OUT（MONO）端子（モノラル）
ミニジャック
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声：327 mV（47 kΩ負荷時）
出力インピーダンス：2.2 kΩ

ACC端子 ミニミニジャック（Ø2.5 mm）

USB端子 mini-B

[液晶画面]

液晶パネル
6.2 cm（2.5型）TFT駆動

総ドット数 123 200（560×220）ドット

[電源・その他]

使用バッテリー
NP-FM50

電源電圧バッテリー端子入力
7.2 V

消費電力（撮影時、LCDバックライトオン）
3.0 W

動作温度 0°C〜40°C

保存温度 –20°C〜＋60°C

外形寸法 138.5×95.7×103.1mm（幅×高さ×奥行き、最大突起部を除く）

本体質量 約606g（バッテリーNP-FM50、ディスク、レンズキャップなど含む）

マイクロホン
エレクトレットコンデンサマイクロフォン

スピーカー ダイナミックスピーカー

Exif Print 対応

PRINT Image Matching II 対応

■ ACアダプター AC-L15A/L15B

電源 AC100～240 V、50/60 Hz
消費電力 18W
定格出力 8.4 V DC、1.5 A
動作温度 0°C～＋40°C
保存温度 –20°C～＋60°C
外形寸法（最大突起部をのぞく）
約56×31×100 mm
（幅×高さ×奥行き）
質量 約190 g（本体のみ）

■ バッテリーNP-FM50

使用電池 リチウムイオン蓄電池
最大電圧 DC8.4 V
公称電圧 DC7.2 V
容量 8.5 Wh（1 180 mAh）

■ 付属品

- ACアダプター（1）
- 電源コード（1）
- USBケーブル（1）
- バッテリーパックNP-FM50（1）
- A/V接続ケーブル（1）
- 8cm CDアダプター（1）
- マビカディスク（2）（CD-R×1、CD-RW×1）
- ショルダーベルト（1）
- レンズキャップ（1）
- レンズキャップ用ひも（1）
- CD-ROM（SPVD-010）（1）
- CDマビカ基本編（1）
- CDマビカ応用編／困ったときは（1）
- 安全のために（1）
- 保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやディスクなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

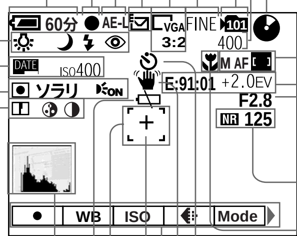
この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

画面上の表示

静止画撮影時



画像サイズ表示（別冊基本編 ➡ 19）

撮影モード表示（24〜26）

AE LOCK表示（18）

AE/AFロック表示（13、別冊基本編 ➡ 21）

バッテリー残量表示（別冊基本編 ➡ 11）

ホワイトバランス表示（20）／モードダイヤル表示／フラッシュモード表示（別冊基本編 ➡ 26）／赤目軽減（別冊基本編 ➡ 27）／コンバージョンレンズ表示（76）

日付／時刻表示（別冊基本編 ➡ 30）／ISO感度（71）

測光モード表示（17）／ピクチャーエフェクト表示（28）／ホログラフィックAF（別冊基本編 ➡ 27）

シャープネス表示（71）／彩度表示（71)／コントラスト表示（71）

ヒストグラム表示（16）

バッテリープリエンド（66）

AF測距枠（11）

画質表示（6）

記録フォルダ表示（6）

撮影残枚数表示（別冊基本編 ➡ 11）

ディスク残量表示

AFモード表示（12）／AF測距枠表示（11）／フォーカスプリセット値（14）

自己診断表示（67）／EV補正表示（15）

絞り値表示（9）

NRスローシャッター表示（10）／シャッタースピード表示（9）

マクロ表示（別冊基本編 ➡ 25）

セルフタイマー表示（別冊基本編 ➡ 26）

手ぶれ警告表示（66）

メニュー／ガイドメニュー（4）

スポット測光照準（17）

動画撮影時

撮影モード表示（44）

AEロック表示（18）

バッテリー残量表示（別冊基本編 ➡ 11）

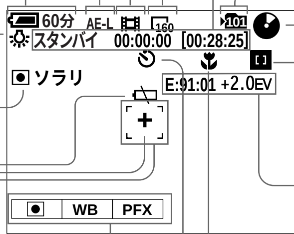
ホワイトバランス表示（20）

測光モード表示（17）／
ピクチャーエフェクト表示（28）

バッテリープリエンド表示（66）

スポット測光照準（17）

AF測距枠（11）



画像サイズ表示（別冊基本編 ➡ 19）

記録時間［最大記録可能時間］表示（68）／
コンバージョンレンズ表示（76）

記録フォルダ表示（6）

ディスク残量表示

AF測距枠表示（11）／フォーカスプリセット値（14）

自己診断表示（67）／EV補正表示（15）

マクロ表示（別冊基本編 ➡ 25）

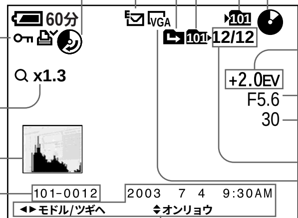
セルフタイマー表示（別冊基本編 ➡ 26）

メニュー／ガイドメニュー（4）

- メニュー／ガイドメニューは、MENUボタンを押すと、表示／非表示が切り換わります。

別冊の「CDマビカ基本編」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、「**別冊基本編 ➡** ページ番号」のようにご案内しています。

静止画再生時



撮影モード表示（24～26）

残量回復表示（別冊基本編 → 34）

音量表示（26）／プロテクト表示（38）／プリント予約マーク表示（41）

ズーム表示（別冊基本編 → 24）／コマ再生表示（22）

ヒストグラム表示（16）

フォルダ-ファイル番号（別冊基本編 → 46）

フォルダ移動表示（32）

再生フォルダ表示（32）

記録フォルダ表示（6）

ディスク残量表示／再生フォルダ内画像枚数

EV補正表示（15）

絞り補正表示（9）

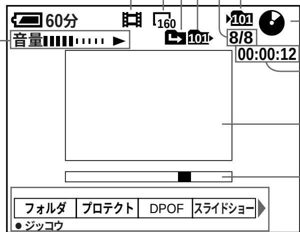
シャッタースピード表示（9）

画像番号／再生フォルダ内画像枚数

画像サイズ表示（別冊基本編 → 19）

画像の記録日時表示（別冊基本編 → 15）／メニュー／ガイドメニュー（4）

動画再生時



- 画像サイズ表示（別冊基本編 ➡ 19）
- 撮影モード表示（44）
- 再生表示（45）／音量表示（45）／残量回復表示
- フォルダ移動表示（32）
- 再生フォルダ表示（32）
- 画像番号／再生フォルダ内画像枚数
- 記録フォルダ表示（6）
- ディスク残量表示
- カウンター（45）
- 再生画像（45）
- 再生バー（45）
- メニュー／ガイドメニュー（4）

• メニュー／ガイドメニューは、MENUボタンを押すと、表示／非表示が切り換わります。

別冊の「CDマビカ基本編」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、「**別冊基本編 ➡** ページ番号」のようにご案内しています。

用語の解説

アンファイナライズ（**別冊基本編** ➡ 42ページ）
直前に実行したファイナライズを取り消すことです。アンファイナライズするとファイナライズの実行で使用したディスク容量（約13 MB）を元に戻すことができます。CD-Rはアンファイナライズできません。

イニシャライズ（**別冊基本編** ➡ 18ページ）
ディスクにデータを書き込めるようにすることです。パソコンや他機でファイナライズしたディスクに追加書き込みをするにはイニシャライズを行います。イニシャライズしても、ファイナライズする以前に記録した画像ファイルはそのまま残ります。

インストール（48、**別冊基本編** ➡ 49ページ）
ソフトウェアなどをコンピュータにコピーして組み込むことです。

“インフォリチウム”バッテリー（82ページ）
“インフォリチウム”に対応している機器とバッテリーの使用状況に関するデータの通信を行うことができるバッテリーのことです。

オートパワーオフ機能（**別冊基本編** ➡ 14ページ）
本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源を自動的に切る機能のことです。

シャッタースピード（9ページ）
シャッターを開いてCCDに光を当てる時間のことです。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写ります。

スマートズーム（**別冊基本編** ➡ 24ページ）
画像をデジタル処理して画質を劣化させないで拡大することができる機能のことです。最大ズーム倍率は画像サイズによって異なります。

ドライバ
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのことです。

半押し（**別冊基本編** ➡ 21ページ）
シャッターボタンを押し込まず、半分押しした状態にしておくことです。シャッターボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調節します。

ピント（**別冊基本編** ➡ 21ページ）
被写体に対する焦点のことです。本機はピントを自動で調節しますが、撮影距離を設定して撮影することもできます。

ファイナライズ（**別冊基本編** ➡ 40ページ）
ディスクをパソコンのディスクドライブで読めるようにすることです。1度ファイナライズを実行したディスクでも、再びイニシャライズすれば画像の追加書き込みができます。本機でファイナライズを行った場合は、自動的にイニシャライズも行われるので、引き続き画像の追加書き込みができます。

フォーマット（**別冊基本編** ➡ 37ページ）
記録した画像をすべて消去するときや、本機以外でフォーマットしたCD-RWをお使いになるときに行う作業のことです。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消えます。本機でフォーマットしたCD-RWは自動的にイニシャライズされます。CD-Rはフォーマットできません。

フォルダ（6、32ページ）
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所のことです。ファイルを分類するときに便利です。

ホワイトバランス（20ページ）
光源に合わせて色を調節する機能のことです。被写体の見た目の色は光の状況に影響されます。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく映ります。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影することができます。

有効画素数
CCDが光から電気信号に変換できる画素数です。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になります。

露出（15ページ）
絞りとシャッタースピードの値により決まる光の量のことです。

AE（**別冊基本編** ➡ 21ページ）
「Auto Exposure」の略です。
被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能のことです。

AF（**別冊基本編** ➡ 21、23ページ）
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能のことです。

CCD
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種のことです。

DCF（**別冊基本編** ➡ 5ページ）
「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格のことです。

DPOF（41ページ）
「Digital Print Order Format」の略で、「ディーポフ」と読みます。印刷したい写真を記録メディア上に指定することができます。

EV（15ページ）
「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位のことです。

Exif（83ページ）
（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです。

GIF（22ページ、**別冊基本編** ➡ 47ページ）
「ジフ」と読みます。静止画ファイルの形式のひとつで、インターネットのホームページ上で表示を行うときに使われる代表的なものです。 本機では、クリップモーションでの撮影時にGIF形式で画像を保存します。

ISO（71ページ）
「イソ」と読みます。
カメラフィルムの光に対する感応度のことです。ISO単位で表します。数値が大きいほど高感度の撮影ができます。

JPEG（**別冊基本編** ➡ 47ページ）
「ジェイペグ」と読みます。インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式のことです。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

MPEG（44ページ、**別冊基本編** ➡ 47ページ）
「エムペグ」と読みます。カラー動画像の圧縮方式のひとつで、品質の良い画像や高い圧縮形式が得られます。本機では、動画（MPEGムービー）撮影時と、ボイスメモでの撮影時に音声をMPEG形式で保存します。

OS（**別冊基本編** ➡ 48ページ）
「Operating System」の略で、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアのことです。

PTP（**別冊基本編 ➡** 49ページ）
「Picture Transfer Protocol」の略です。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法のことです。

TIFF（25ページ、**別冊基本編 ➡** 47ページ）
「ティフ」と読みます。静止画の保存形式のひとつで、画像データを圧縮しないため、画像が劣化しません。本機では、TIFFモードでの撮影時にTIFF形式でJPEG方式画像を保存します。

USB（**別冊基本編 ➡** 48ページ）
「Universal Serial Bus」の略です。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格のことです。

VGA（**別冊基本編 ➡** 20ページ）
「Video Graphics Array」の略で、640×480の画像サイズのことです。

索引

数字の前に「基」がついているページは別冊基本編のページです。

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット

お問い合わせ窓口のご案内

ご使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-62-4979
（電話のおかけ間違いにご注意ください。）
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の前に以下の内容をご用意ください。
①本機の型名（本機底面をご覧ください。）
②本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

修理申し込み

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合左記のテクニカルインフォメーションセンターへお電話ください。
お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいします。

ImageMixer for Sonyに関するお問い合わせ窓口

ピクセラユーザーサポートセンター
電話：072-224-0181
受付時間：月～日曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
http://www.imagemixer.com

3081838O3

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。